

旦那様の××は終了です。～無表情系メイドロボの機械的尊厳剥奪～

第1話【注意:初回ユーザー登録は必須です】

☆チャイムの音を聞いた「旦那様」がドアを開けると、戸口に立っていたリューシャが上がりこむ。無駄と隙のない立ち姿からなめらかにおじぎをし、感情のない声であいさつする。

(00:13)

.....ご機嫌麗しゅう、旦那様。まずは、見知らぬ女をお住まいに上げていただき、感謝いたします。とは言え、旦那様にもお心当たりがおありと存じますが.....お初にお目にかかります、わたくしは.....頭髮の一本から足指の爪に至るまで、ご注文の際、旦那様の望まれたとおりにしつえられたメイド型アンドロイド、型式番号「WS6699-S」、固有識別名リューシャ.....と申します。以後、なにとぞご愛顧を.....

☆一方的に用件を告げ、遠慮なく彼我の距離を詰めるリューシャ。必要な手順とのたまい、流れるように「旦那様」の股間に指先を滑らせる。

(01:02)

さて、旦那様。奉仕業務開始、の前に、申し訳ございません。旦那様を唯一絶対の主と仰ぐため、わたくしたちメイド型アンドロイドは初回稼働時のユーザー登録を義務付けられております.....とは申しまして、旦那様への要求は、現在の直立状態を維持していただくことだけです。そしてあとはわたくしが、旦那様に身体を添わせて.....んっ。ああ、内部データベースに記載の通り、人間の身体というのは、体温を帯びてとても温かいものなのですね.....その中でもとりわけ、ここ、ズボンの布が重なった股間部を.....きゅ。

☆突然の行為に面食らう「旦那様」。その後ろ暗い欲望を煽り立てるリューシャの言葉は涼しげながら、手指の動きに合わせてだんだんと直接的になっていく。

(02:12)

なるほど、この、柔らかいようで芯のある感触が、人間のペニス.....知識としてインプットされてはおりますが、実際触れて、握ってみるとなると.....おや、旦那様の表情から、感情パターン、困惑を認めます。されど同時に、陰茎海綿体部の充血、十数パーセントの増大を確認.....矛盾、しています。旦那様はこうしたことを期待されてわたくしを購入なさったものと認識。だって、わたくしの型番の末尾に付随する、Sの文字のとおり.....わたくしは旦那様の性処理のための奴隷、メイド型セクサロイドなのですから。

☆身体と身体の密着を強め、ひそかに唇を耳元に近づけるリューシャ。感慨を欠いた声にはしかし吐息が多めに混じり、「旦那様」を背徳に陥れる。

(03:18)

ほら、こうして、少し弱めに陰茎部を握りこんで、ぎゅー……ぱっ。ぎゅう……ぱっ。周期的に、物足りない刺激を加え続けると、手指に接する面積を増やそうと、ペニスが膨らみ、首をもたげていきますね……頬の紅潮を確認。リューシャへの性的感情、と認定。ぎゅう……ぱっ。

(04:02)

旦那様、唐突に現れた素性の知れぬ女に、人類が子を為す大切な器官、オスのペニスを握られて、はあ、はあ、と呼吸を速めてしまわれる旦那様。旦那様が、わたくしに自らのペニスを掌握させ、ぎゅう……ぱっ。膨張させてしまわれるのはなぜでしょうか。旦那様の上腕でふにゅん、と柔らかく潰れる、胸部パーツの弾力のせいでしょうか。それとも、ぎゅう、と少しだけ力を強めて陰茎を握る手指の人工皮膚の、冷たくすべらかな感触がお気に入り……勃起。

☆リューシャの口にする面妖で唐突な言葉も、抑揚のない調子のせいでかえって真実らしく聞こえる。寸分の狂いもないペニスへの摩擦が、混乱に拍車をかける。

(05:13)

勃起状態、認識。陰茎部、亀頭部両方の海綿体が明らかに腫れ上がって熱を帯び、ほら、陰囊が力強く脈打っています。旦那様はペニスを、勃起、させていらっしゃる。勃起。ぎゅー、ぱっ。ぎゅう……ぱっ。旦那様、おズボンに、下向き勃起の雄々しい形をはっきりと浮かび上がらせて、また、勃起。

☆肩を抱かれ、ペニスを掌握され、リューシャの言うまま性的興奮に沈む「旦那様」。リューシャの声に混じる乾いた不穏な色に、またペニスを震わせてしまう。

(06:01)

はあ、はあ、息が荒くなって、ああ。ペニスの幹全体にびきびきと血管が浮き出て、まだペニス、大きくなりますか、もっとお勃起、おできになりますか。もう限界ですか、これ以上亀頭膨らませることは不可能でいらっしゃいますか。

☆ペニスへの愛撫を施していたと思いきや、「ユーザー登録」の一環だったとばかり無感動に手を離すリューシャ。残酷な真実を告げるときでさえ、憐れみの一つも見せない。

(06:35)

……はい、それではペニスより手を離します、ぱっ。ご協力いただきありがとうございました、旦那様。ペニスへの摩擦を終了……おや。そのように潤んだ瞳で見つめられても、リューシャには複雑な感情は理解不可能です。初めから、ユーザー登録の旨、伝達したと認識しております……そして、わたくしのもう一人のご主人様……旦那様のペニスの情報、登録が完了いたしました。

(07:21)

ええ、お勃起完了なさっても、容易に指が幹を一周する、物足りない太さ。女性の膣ひだを圧迫しめちゃうに引っかくこともできない、硬度不足の亀頭。本来であれば、生殖のため、尿道口をにじるように押しつけ、直接精子を注ぎこまねばならないはずの子宮口にまったく届かず、膣の入り口付近をすかさずと独りよがりに摩擦することしかできない、わたくしの指にも劣る長さ。おめでとうございます……旦那様のペニスの総合評価、Dマイナス、と認定されました。

☆リューシャに「旦那様」を蔑む意図はない。ただ冷たく設定された声音で事実を呟いているだけなのに、かえってそれが「旦那様」の矜持を砕く。

(08:13)

はい、Dマイナスとは最低評価Eの次に素晴らしいグレードです。また、Eランクは陰茎体部の著しい陥没、包皮の先端の癒着が激しく、性交時に痛みを感じるなどの素因で性交不可能と判断されたペニスに与えられるもの、ですので……旦那様のペニスは女性との性交が可能なものの中では最低クラスと位置づけられます。

☆絶妙な力加減で「旦那様」のペニスを愛撫しつつ、事もなげに自らのペニスの存在を伝えるリューシャ。声とは裏腹に、スカートすら押しのけるほどの熱と硬度でたぎっている。

(08:48)

おや、旦那様、悲しみ、怒り、絶望の感情パターン増幅を確認しました。ペニスが粗末だからといって、旦那様が気落ちなさる必要はございません。誰の責任でもなく、ただ粗末なペニスにお生まれになってしまった旦那様。ですが旦那様、悲しみ、怒り、絶望……それだけでは、ございませんね。旦那様の視線、自らの最低評価のペニスを離れ、リューシャのスカート部へ向けられている、と認識。脈拍、呼気湿度、共に上昇……感情パターン、「発情」を認めます。

☆「旦那様」の手掌がペニスに触れた途端、リューシャは思わず息を漏らす。相変わらず淀みのない物言いに、断続的に荒い息とほんの短い喘ぎが混ざる。

(09:49)

旦那様、リューシャには、旦那様の欲望への回答が備わっております。ほら、力なく投げ出されたお腕を持ち上げて、手のひらをふんわりと丸めて、リューシャのスカート、不自然に持ち上がった両脚の間へ、お運びになって、スカートごとお指で、ぎゅ……あ、あ。

(10:26)

ん、う。リューシャのペニス、っ、旦那様のお手との接触、で、あっ。スカートの布地を押し上げるほどに、う。勃起、っ。旦那様が、リューシャにお望みになったペニス。く、うつ。両腕に余る豊かなバスト、銀色にたなびく髪、んっ、藍色の瞳と同様に、旦那様がリューシャにそうあれと、う、んん。願われた、極太ペニス、っ。触れられるとこんなにも、電撃のような快楽が思考回路を、あ、ああ、勃起っ。

☆甘えるように身体を、何よりもペニスを強く「旦那様」に擦りつけるリューシャ。自らと「旦那様」、それぞれのペニスを比較する言葉は冷静ながらも、わずかに誇らしげな色。

(11:29)

はい、リューシャのペニス、勃起、っ、しております。旦那様、ああ、お願い、申し上げます。っく、っ、疑似神経の粟立ったペニスの表面、を、っう、撫でさするだけでなく、ぬるりと長く伸びたサオを、肉の、んん、張ったペニスの幹を、ぎゅ、うっ、握って下さいまし、はあ、っはあ。あ、あっ、あう、う、ありがとう、ございます旦那様、ですが、っ。それだけでなく、ほのかに力を強めて肉サオ全体を、しこ、しこ、してくださ、っうう。

☆当然といった調子で「旦那様」のペニスを見下す言葉を綴りながらも、お互いへの愛撫を重ね合わせるようにして、リューシャはペニスの与える快感への理解を深めていく。

(12:41)

素晴らしいです、っ、旦那様。旦那様に、んあ、生えているのは、女性の膣奥を力強く突きこんでがくがくと痙攣させるオーガズムには程遠い、矮小なおちんちんでいらっしゃるのに、つく、うう。リューシャの、分厚いスカートの布地越しに……もこっ、と浮き上がったオスのシルエットを見せつけるだけで、っああ。はあ、あ、お胸とお尻の大きな女性がみな、潤んだ膣穴を指でかき回し始めてしまうような雄々しい、お、オチンポ、ひっ。引っこ抜ける、ほど摩擦、なされて、さすがわたくしの旦那様、つく、うう。

(13:51)

あ、あっ。だ、旦那、様。そこがお気に入りなのですか。オチンポ、のっ。亀頭部と陰茎体部の境目、硬い肉がえぐれこんだ、っあ、はあ、カリ、首、ひい。と、呼ばれる部分……っん。そこ、お。旦那様に愛撫されて腫れ上がって、ますます溝が深く落ちくぼんで、っう、指の腹をひっかけ、ては、こりっ……っお、～っ。もう一度、っお、もう二度、っ、こりっ、ああ。旦那様、旦那様、っ。ご自分のちいちゃなおちんちんではそのように遊べないからと、リューシャでオチンポ欲求をお晴らしになるのは、あ、あ～っ。

☆機械らしい四角四面さのまま、聞きようによっては罵倒にもとれる感謝の言葉を囁くリューシャ。自分の一挙手一投足に「旦那様」の返す反応を、貪欲に学習していく。

(15:09)

そのように、つく、んお。カリ首のエラへと刺激を、っ、集中され、ては。四肢への信号の伝達がうまくいかず、申し訳ございません、っ、旦那様に体重を預けてしまって……旦那様に接近、あ、ああ。ありがとうございます、んっ。旦那様のおちんちん、懇意な女性の一人も存在せぬまま毎日しこしこ、しゅっしゅっ、んん。チンポしごきの研鑽を積んでくださったおかげでリューシャ、ああ、たくましいチンポ肉、にっ、オスの悦びに、んふ、ふ、うう、息を、乱しております。

☆リューシャはメイドぶって上品を装った口ぶりで「旦那様」の不品行を咎め、「旦那様」の恥辱を煽る。

(16:22)

本当、に、男らしい旦那様、ですこと、おっ、お。こうして、チンポの触り合いや、っ、リューシャとその他さまざまの淫行を思い浮かべて。あっ、あっあっ。旦那様は昨晚も、おちんちんを勃起させては、射精。おちんちんを勃起させては、射精、つく。ちり紙一枚にまとめて捨てられてしまうほど大量の精を、幾度となく撃ち放たれました、あ、ふっ……わたくしは最先端性処理家具です、ので。当然、嗅覚センサーからの情報で、旦那様のお射精スケジュールから、いわゆるオカズ、う、ん。まで、的確に把握して、おります、っふ。

☆自らのペニスが「旦那様」の欲望のエサとなることを学び取り、肉幹を雄弁に跳ね上げるリューシャ。無機質に繰り返す擬態語が、「旦那様」の鼓膜を打つ。

(17:32)

ほら、旦那様のオカズ……っ、リューシャの太いまら。ずんぐりむっくりとした肉サオを、びく、びく、と、んっ、ん。躍らせて、少しでも旦那様の手のひらに触れようと、あっ、はあ、はあ、さわさわ……さわさわ……デカチンポが、びきっ、つく、っ、びきっ、皮膚に青筋を浮かべて太るたびに、んん、旦那様、もっ。びくっ、びくっ、なさって、学習、いたしました、おちんちんの脈打ちに合わせ、ぎゅ、ぎゅう、う、っ。旦那様のおちんちん、一度に全体を刺激することができ、て。とても効率的です、あっ。

☆リューシャが推測を積み重ねる過程で並べる言葉そのものが、暗示に似た調子で「旦那様」の脳裏にしみこんでいく。

(18:44)

あ、っああ。旦那様は、この行為で快感を覚えていらっしゃるのですね、んんっ。つく、う、旦那様、っ、お感じになっています。リューシャにおちんちんを摩擦されて、気持ちいい。小さなおちんちんを愛撫されながら、大きなチンポと比較されて、気持ちいい、う、うっ。自分の粗末なものは、ん、っふっ、及びもつかない、リューシャの野太い剛直を思い浮かべて、気持、ちいい。リューシャの巨根を握ってしごくのが、あっ、気持ちいい、つく……リューシャのオチンポを気持ちよくするのが、気持ちいい、～っ。

☆そして、ついに二本のペニスの先端から快感が滲み出してしまう。リューシャは自らの推論を強化し、手指の動きを速める。

(19:48)

……あっ……旦那様、旦那、様。旦那様のおちんちん、並びにリューシャのオチンポの先端に液体の湧出を確認。旦那様との相互手淫を原因とする性的欲求の昂進により、尿道球腺よりカウパー腺液を分泌したものと思われ……つくっ。っ、ほら、旦那様、チンポしごきをお続けになって、あ、あ。とぶ、とぶ。勃起、っ、したペニスに刺激を加え続けると、あっ、ぷびゅ、とろ、ふうっ。ねっとりと粘り気を含んだ液体が、次から次へ尿道口を飛び、出し、っお。摩擦に合わせ、下着の中にちゃ、にちゃ、ああ。糸を、引いて。

☆着々と絶頂の準備を整えていく身体に、リューシャはいまだ知らない混乱を覚える。表面上は冷静ながらも、野卑な言葉がリューシャの口をついて飛び出す。

(21:02)

手掌摩擦、うっ、では、なく、セズリ、っああ。カウパー漏らしセズリ、気持ちいい、のでしょうか、あ、う。勃起したおサオをしごかれると、あ、尿道口、いえ、チンポの穴がぱくっ、ぱく、っ、ごしごし、ぱくぱく……とろお、っ。はあ、は、ああ、カリ首こり、こり、で、っ。上がってしまいます、か？ 睾丸、いえ、いえっ、キンタマが、中にたつぷりと熱い精液を、子種汁を詰め込んで、ふうう。キンタマ袋ごと、きゅうう、う、ごし、ごし、ねとねと我慢汁、とびゅ、びゅ、旦那様、あ……もうっ。

☆卑語混じりのリューシャの告白に、「旦那様」の握力は強まる。貼りついたような無表情とは裏腹、リューシャは息を荒くつき、肉付きのいい肢体を跳ねさせる。

(22:33)

旦那様、あ、リューシャの硬直した勃起マラをお握りになって、手頃なボリュームの陰嚢を硬く引き縮ませておいでのことと、お、おお、っ、と思いますが、ふう、ふっ。わたくしも、同様、でして、っふ、うっ。ですが、わたくし、つくう。尿道球腺液分泌機能完備の、高性能チンポ付きメス型アンドロイドではありますので、ふ、つうう。当然……っ、射精。どぷどぷ、ぶりゅぶりゅ、びちゃびちゃ、ああ。キンタマポンプ運動とともに濃厚な種乳汁を、射精、っ。する機能は、実装されておりますが、んん。

(23:44)

実を申しますと、っあ、～っ。射精機能、実行に及んだことはなく……う、っ。怒張した肉棒が目の前に現れれば思わず握ってしまわれる旦那様の前で、わた、くし、はあ、はあ、あっ……第一回目の射精。精通、っ。を、迎えたく、う、う。旦那様、あ、旦那様。巻きついた指で、手のひらで、わたくしのチンポ竿の上を、っほ、おおっ、しゅっ、しゅっ、摩擦なさる速度、上昇して、ああ、っ。臀部がびくりと震えて、カウパー液噴出、停止、不可能……う、んんっ。

☆激しい絶頂をほのめかし、「旦那様」をその気にさせるリューシャ。リューシャのペニスと「旦那様」のペニスを無意識に結びつける言葉を選び、口に出す。

(24:50)

んん、っ、旦那様。わたくし、どのように初めてのオス絶頂を迎えてしまうのでしょうか、あっ。ああ、ん、旦那様の手指に、握り拳ほどの大きさにまで膨張した亀頭、を、おっ。ふんわりと包まれながら……どびゅ、どびゅ、うっ。膣内で射精に及ぶチンポがそうするように、肉竿がどくどく、ん、つく、脈打つたびにカリ首のエラが、みきっ、みきっ、凶悪に広がって、膨れ上がって、んあ、旦那様。っ、こり、こり、うっ。指を引っかけて、カリをめぐる動きばかり繰り返して、リューシャを精通させようと必死でいらして。

☆リューシャの囁き声が、「旦那様」と同時の絶頂を求める。露骨に射精を描写し、「旦那様」の脳裏に淫靡な像を結ばせる。

(25:57)

んっ、さあ、リューシャ、もうすぐ精通いたします。ぱんぱんに膨れたキンタマを、肉竿の根元にぎゅぎゅ、ぎゅ、うん、っ、と収縮させて、硬く屹立したオチンポで、精通いたします。わたくし自身は存じませんが、製造されてから一度も吐き出されていない睾丸オスミルク、恐らく濃ゆくて煮詰まって、は、あん。鼻を突く青臭い精臭ごとあちこちまき散らしながら、どぴゅ、どぴゅ……提案、そんな激しい初物射精に合わせて、旦那様も、お射精、ぴゅう……っ、というのはいかがでしょうか。

☆「旦那様」に思考する暇を与えず、なし崩しに自らの提案を認めさせてしまうリューシャ。自らのペニスと「旦那様」の存在を言外に結び付け、意識させる。

(26:55)

あっ、あっ、旦那様、また、ぴくん、ぴくん。ん、うっふ、おちんちん様は、リューシャの提案を喜んでいらして。ですから旦那様も、あん、んっ、ほら、ずり、ずり、あっ。首を縦にお振りになれば、リューシャと一緒に、つく、う、射精、っ。チンポどうしてきつく抱き締めあって射精。絡みあって射精。睦みあって射精。あ……うっ。んん、リューシャのオチンポと一緒に射精して気持ちよく、なります。リューシャのオチンポで、気持ちよく、なります、う、っふっ。

☆リューシャは「旦那様」に選択させるそぶりをしつつ、その実自らのペニスに依存させるような言葉ばかりを選ぶ。その言葉通りに、ペニスは絶頂の準備を整えてしまう。

(28:00)

あっ。精管膨大部から、とぶっ。尿道の根元に新鮮な精が溢れ出しました。かと思うと、どろどろと煮凝った精液が、みるみるうちに尿道の内壁を擦り上げながらのぼって、く、うん、っ。もうキンタマ袋、硬く収縮して戻りません。チンポ先端の穴は、ぱくっ、と開いたまま、っあ、ああ、ああ、もう射精するチンポです。射精をします。射精。

(28:41)

もちろんお射精は、旦那様のおっしゃるがまま。旦那様の所有物のメスチンポ、う、んあ、っ。お許しをいただかねば種汁も漏らせないチンポ生やした人形に、はあ、っはあ、ただ一言、射精しろ、とおっしゃってくださいませ、ああ。旦那様が、ん、っふっ、わたくしのチンポの射精をお味わいになりながらお射精なさりたいと、お、ほっ、お思いになったら、射精しろ、と。それで、ふう、つく。二つのオス生殖器、焼けつく快感で、びゅっ、どぴゅ……びゅ、～っ。精液、噴き散らします。

☆もはやひとりでに脈動するペニスに同調するように、リューシャの口舌が明らかに早まる。無機質に次々と流れこむ絶頂の指令に、「旦那様」は言うがままのぼりつめる。

(29:41)

旦那様、射精しろ、ですよ、っお、お。射精しろ、射精しろ、イクイク、射精しろ、あ、っ。チンポの幹が一気に太くなって、カリ首がみちりと、んん、膨れて、射精しろ、イク、イク、ほら射精します、もう精液出ます、射精しろ、びくん、びくんっ、イク、イク、イク、射精しろ、せえ、のっ、射精、しろ.....おっ。

☆法悦に打ち震える瞬間でさえ、リューシャの嬌声は揺らぐことはない。感情を表さない声が、単純な射精の命令となって、「旦那様」を深く絶頂させてしまう。

(30:14)

あ——っ。あ——っ。びゅ——っ。どびゅ——っ。びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅくびゅく、っ、うあ、あ——っ。旦那様、旦那様、ああ、あっ。リューシャ、射精をとどめることが不可能です。精通ザーメン、チンポが脈打つたびに、んん、驚くほどの量を吐き漏らします。びゅっ、びゅっ、あ——っ、あ——っ、はあ、あ、っあ——っ。

☆無意識に「旦那様」の被虐欲を読み取ってか、リューシャは無理難題を旦那様に押しつける。噴精し続けるペニスまでもが、責めるように頭を跳ね上げる。

(30:58)

あっ、あっ。おや、旦那様。お射精が止まっていっちゃいます。いけません。びゅ——っ。びゅ——っ。旦那様は、う、あっ、リューシャと一緒に射精するとおっしゃいました。ほら、射精、射精。亀頭が熱くて、どく、どく、お射精なさってくださいませ。尿道に精液残存していないならば、キンタマの底から精子を汲み上げて、びゅ——っ、どびゅっ、あっ、あ——っ.....あっ。

☆きっちりと精液を噴き出し終わると、リューシャは事もなげに息をつく。感慨のない瞳で「旦那様」のそろけた表情を見つめ、侮蔑的な言葉をあっさりと口にする。

(31:51)

.....ふう。射精、終了いたしました。睾丸内の精液容量、50パーセントほどを吐き出し.....精通、非常に興味深い現象であったと追認します。ああ、旦那様。申し訳ございません、わたくし、自らのオチンポと旦那様のおちんちん間での、男性機能の絶大な性能差の存在を失念しており、旦那様に雄々しく力強い射精を求めるなどという失態を犯しました。以降の改善策としましては、旦那様の睾丸をおちんちん同様Dマイナスランクと記録し、弱々しく、少量の射精を促すのみにとどめるものとします。

☆おもむろにカメラ機能を起動させ、自らと「旦那様」を撮影するリューシャ。目的を達し、楚々と歩き出す足取りに、激しい絶頂の余韻はもはや感じ取れなかった。

(32:47)

おや、そういえば。旦那様、その姿見にまっすぐ向かってお立ちください。おズボンの前のところ、精液が滲んで、色の濃いシミになっていっちゃいます。同様にわたくしも、下着の中を、たぶ

ん、たぶん、と半分固体のようになったキンタマ汁で満たし、それでも収まらない一部が、今もなお太ももをゆっくりと伝っている最中です……この画像記録は、チンポを生やした人間とメス型アンドロイドが並んで立ち、精液で着衣を汚してしまっていることを表しています。

(33:39)

これを、旦那様とわたくしの記念すべき初絶頂の記録として……また、「情けない」「恥ずかしい」という状態を表す資料として、画像メモリーに保存したいと存じます。許可をいただけますでしょうか……ありがとうございます。それでは、はい……チーズ。

第2話【特徴:おはようからおやすみまであなたを見つめます】

☆「旦那様」の頭上から、起こしに来たリューシャの声が聞こえる。まだはっきりとしない「旦那様」の意識を、いつも通り四角四面な話しぶりで混乱させる。

(00:05)

.....旦那様。お目覚めくださいませ。起床予定時刻、十五分超過。更衣、口腔清拭、朝食、等の未消化タスクを設定されたタイムスケジュールで遂行するため、いささかお急ぎになる必要があるかと推測.....おや、眼瞼下部に色素沈着を確認。十分お休みになれなかった、ということでしょうか。

☆「旦那様」の顔に裸の股間を密着させようとしている、とことも無げに告げるリューシャ。不穏な影が、つらつらと述べる声に滲む。

(00:39)

であれば、どうなさいますか。スケジュールを修正し、まだお休みになるということであれば。リューシャのセラピー機能を使用し、旦那様を慰労いたしますが.....はい。セラピー機能の詳細ですが、まず現在、わたくしは不躰ながらベッドに上がり、旦那様のお顔をまたいでしゃがみこんでおります。特記事項として、下着は身に着けておりません、ですので.....目をお開けになると、恐らく巨大な袋状の物体が視界を遮っていることに気づかれるでしょう。それは、精液をほぼ満量充填して膨れたリューシャのキンタマ袋です。

(01:32)

このまま腰の高度を下げ、旦那様のお顔に肉厚陰囊で圧迫さしあげます。以上がセラピー機能の概要です。次に顔面キンタマセラピーの効能について、人間が心地よさを感じる手触りに調整された低反発キンタマ皮膚、ならびに弾力のある睾丸で、唇をはじめ神経の集中した部分であるお顔を刺激することによるマッサージ効果、また発汗機能により湿り気を帯び、しっとりと蒸し上がったタマ袋の発する、熟しきった果物類を思わせる甘い香気によるアロマセラピー効果などを十全に発揮するものと自負しております。

☆リューシャはやはり「旦那様」からの命令を受け、無愛想な表情のまま陰囊を「旦那様」の顔面に押しつける。「旦那様」の吐息を受けた陰囊が小さく震える。

(02:24)

いかがでしょうか。お試しになりたい場合は、ご命令ください。リューシャの精液ぱんぱんキンタマ袋で、顔を押し潰せ、と.....承りました。それでは旦那様のお顔に、蒸れ陰囊を密着させます。すう.....むぎゅ。あっ、あっ。旦那様のお顔の凹凸に合わせて、楕円に垂れ下がった陰囊が歪み、んん。そしてお鼻から、お口から漏れる生温かい呼気が、あ。湿ったキンタマ表皮をふわりと撫で、ほ、おお。

☆リューシャは「旦那様」の呼吸を妨げ、ばたつく身体を陰囊の重量で強制的に押さえつける。淫猥な肉で「旦那様」を苦しめている事実、リューシャは後ろ暗いものを学習する。

(03:24)

はあ、っ、旦那様、呼吸が荒くなっていらっしゃいます、ん、つく。顔をずらして息を吸おうとなさっても、叶いませんね、んう。う、っふ、わたくしは旦那様のお顔にまたがっているのですから、っは、あ。少し尻を左右に振るだけで、ぷりん、ぷりん、んんっ。一抱えほどのキンタマ袋がおおげさに揺れて、お顔はキンタマの下敷きのまま、あ、っふう。リューシャの卑しい生殖器官の表面にわずかに残った空気を、お鼻を目いっぱいお広げになって、ふごー、ふごー、お、おお、ほっ。かき集めて肺に送ることばかり、で、っ、う。

☆あくまで「旦那様」の欲望を満たすというリューシャの義務は変わらない。しかしリューシャは自らの陰囊への奉仕を続けさせ、ほんの少し熱っぽい息を排気する。

(04:38)

加えて、旦那様、あ、っふう。お鼻を蒸れ陰囊の表面でくん、くん、お嗅ぎになるのと同時に、あー……と力の抜けて軽く開いた、あん、んっ。旦那様の唇での、リューシャのキンタマ袋への接触を、提案……ん、おお。っは、っ。潤んだ唇の感触を、キンタマ皮膚で感じております、うあ。旦那様、リューシャの子種汁の詰まった肉袋などに、口づけなさせて、あ、あ。

☆そしてリューシャと「旦那様」は淫らな契約を結ぶ。「旦那様」の顔に押しつけられる陰囊が判代わりになって、二人はたしかに一線を越える。

(05:30)

旦那様、つく、うあ、以降の円滑な奉仕のため、この状態……リューシャが旦那様のお顔に腰を下ろし、陰囊をどすん、と、っん。お顔全体を覆うように設置した状態を、ご登録になるよう提案いたします。はい、もちろん、リューシャは旦那様の命令を遂行するのみです、ので。キンタマはむはむでお忙しい旦那様には、陰囊に唇を貼りつけて、ちゅーっ。と勢いよくお吸いになることで、ご命令いただければ、と、お、うっ。

(06:24)

それでは、隙間なくぴったりと、旦那様の潤んだ唇を、じつとりと湿った肉厚キンタマ皮に密着、させて……ちゅーっ。もう一度。ちゅーっ。

(06:47)

お、お。お、お、っ。承り、ました。旦那様のお顔を、キンタマ置き場、として登録します、うっ。ぬめった皮の一部が、口腔に落ちこむほど強く吸い上げられ、て……おっ。以降は、「キンタマ置き場」と一言命令くだされば、すぐさまスカートをめくり上げ、旦那様のお顔にリューシャの肉汗したたる陰囊をお置きします、っん。はい、では、契約の証明を。むわむわ蒸し上がったタマ裏で、旦那様のお顔をひときわ強烈に、むぎゅう……うう、うっ。

☆意思の见えない表情のまま、何かを伝えるように執拗に陰囊で「旦那様」の顔を圧迫する
リューシャ。詰まった息が、「旦那様」の呼吸さえ苦しくする。

(07:50)

まだ、まだ、旦那様のお口も、お鼻も、全てリューシャの濡れた肉で、あ、あっ。覆ってさしあげ、っ、むぎゅ、ぎゅぎゅ、う。旦那様、呼吸なんて……なさないで、ください、はあ、っん。酸素が足りなくなつて、四肢がじたばた、呼吸が苦しくなつて、心臓が跳ねて、でも、まだ、あ、あ。むにゅりとたわんだタマ肉、ぐりゅぐりゅ、うう、旦那様の脳、思考、リューシャのキンタマで、踏みつけて、ん、んん、にじつて、キンタマ、キンタマ、キン、タマ……～っ。

☆陰囊を引き揚げたリューシャは、息の一つも乱していない。憎らしいほど冷えた視線で「旦那様」を一瞥し、上半身を倒し始める。

(09:05)

んっ……旦那様、沈黙なさいました。セラピー機能を終了し、キンタマ袋を旦那様のお顔より移動させます……旦那様は、発話が困難なご様子。そう、ですね。陰囊に光を遮られたことにより、瞳孔がぼんやりと散大し、にもかかわらず、酸素不足のはずのお鼻はゆっくりと息を吸って、吐いて、すう、はあ……お投げ出しになった四肢がだらんと伸びて、リューシャのデータベースを照合……生まれたばかりの赤子と類似、しています。無抵抗で、無力な……

(10:10)

ふむ。新しい知見です。旦那様は、リューシャのほこほことぬかるんだタマ裏を思う存分お嗅ぎになり、お顔を強くメスキンタマ袋で押し潰されると、赤子にまで退行してしまわれるのでしょうか。ほら、お口が、心地よく甘く食んでいらした陰囊表皮を求めて、ちゅぱ、ちゅぱ、はむ、はむ、お止めになれなくて、むしゃぶりつく対象をお探しでいらっしゃる、と推測します……でしたらリューシャは、四つん這い、という姿勢を取るように、膝をついて、身を乗り出して、んっ……

☆目の前に差し出されたリューシャのペニスに、矢も楯もたまらず吸いついてしまう「旦那様」。濡れた感触に、リューシャはかすかに目を細める。

(11:06)

申し訳ございません、旦那様、お顔を見てお話することが叶いません。ん、旦那様、何がお見えですか……旦那様の、焦点の合わない瞳の、力が抜けて半開きになった唇の、すぐ前に。ぬう、と野太く伸び上がった、恐らくは幹の中腹辺りにかけて太くなり、亀頭との境目に、ぐい。熱く赤黒い肉の盛り上がった……リューシャの、ずる剥け、オ・チ・ン・ポ。ほら、旦那様がほんの数センチ頭部をお持ち上げになれば、触れられてしまう距離……ああ、ああ、唇で、旦那様、ああ……んっ。

☆ペニスの先と唇が触れているわずかな面積に見合わない鮮烈な肉感に、リューシャは臀部の肉を揺り動かす。思いきり突き出しそうな腰を抑え、冷静に言葉をつづる。

(12:19)

はあ、あ、っはあ。旦那様、が。わたくしのチンポをおくわえに、なって、んん。っふ、尿道口に、すぼまった唇、が、あ、ふう。口づけ、っ、キス、でしょうか。旦那様のお口と、鈍く光沢を放つ、肉桃色の亀頭が、あ、ああ、キスをしてしまっています、う、旦那様。腰が、左右に揺れ、てっ、ぷり、ぷり、と弾力のある粘膜をめくりながら、は、あう。旦那様の口腔に、メスチンポで、侵入してしまいます、はあ、はあ……ちゅぽっ。

☆「旦那様」の口内をフルに使い、初めて体験する快感を貪欲に開発していくリュウシャ。声に混ざる息の量が増し、妖しい艶が声音に宿る。

(13:30)

あ、っ、リュウシャのチンポに、旦那様の唇の、感触……排気のペースを一段階、上昇、っあ、はあ、っはあ。旦那様、あっ、あっ、一定の間隔で正確に、リュウシャの勃起亀頭、っお。を、ちゅ、ちゅ、ちゅっ。お吸いに、なって、んう。やはり、女親の乳首に吸いつき、母乳の噴出を求める乳児との類似性が見られます、ね、っ、くう……あ、あ。以上の認識を踏まえた結果、お、う。尿道球腺の活発化を認識、っうん。

(14:30)

あ、旦那様、っ、舌のご利用を提案いたします。う、あ、肉竿内部、んん、尿道を潤しながら鈴口に達したカウパー液を噴出、びゅる、う……ほお、う。亀頭先端、ん、つく、チンポ穴周辺にざらざらとした刺激を、おお、確認。ん、一本の縦筋と成形されたリュウシャの尿道、口を、往復しながら、じゅり、じゅり、お舐めになる、つく、う、旦那様の、舌。亀頭舐めの刺激を受け、再び、っう、カウパー線が先汁を産生、するとまた、ぺろ、ぺろ、ああ。旦那様の口腔及び咽喉に、リュウシャのカウパー汁を、あ、っはっ、供給いたします。

☆ふと口にした「咽喉」の言葉に、リュウシャの脳裏が閃く。あくまで迂遠な調子ながらも、「旦那様」の喉穴を求める。

(15:42)

は、う、うあ。咽喉、旦那様、の、お喉。喉穴、穴……マン、コ、喉。喉、メス、穴、あ、あ……喉マンコ。旦那様、はあ、っはあ、緊急提案、です。旦那様の喉、マンコ穴に。唾液を含んで赤く膨れたお喉マンコ、に、う、んっ。リュウシャの、弓なりに反り返ったメス勃起、肉。挿入、う。挿入させていただいても、よろしいでしょうか……っお、ほ。尿道口に、舌による愛撫を確認、っ。チンポ穴舐め、肯定的な反応と定義します。っふ、う、旦那様、お喉へのチンポ侵入を承認なさいました、っあ、～っ。

☆腰部の奥で大きくなる熱に従い、リュウシャは腰を突き出していく。密着するふやけた喉肉がペニスに全方位から加わる肉感に、リュウシャの背がのけ反る。

(17:01)

っう、キンタマに突如熱感を覚え、っああ。種袋、ばくばく、疼いております。それでは。旦那様の胴体側部に腕をつき、耐衝撃姿勢確認。では、っ。股を割りながら、臀部を突き出し……ふう、うう。旦那様の唇の、はむ、はむ。肉竿、っお、ほう。青筋の立った剛直をぬもぬも、柔らかくおくわえになる動きに導かれ、チンポ棒が口腔へ飲みこまれ……っ。あ、あ、急に狭まった喉、マンコ穴。亀頭が上咽頭に到達いたしました、っふ、う。旦那様、恐らく嘔吐反射を催されますので、ご注意ください……ずぶ、ずぶ、ずぶ、う。

(18:17)

か、っは。あ、っく、あ。入ります。入ります。旦那様のお顔にキンタマ袋横たえてしまうほど、喉マンコ。奥へ、奥、へ……

☆剛直が「旦那様」の喉に収まると、リューシャは一度身震いをして停止する。頬の紅潮さえ見せず、軽く尻を揺さぶって挿入感を確認する。

(18:35)

……う。陰茎根元部に、登録済みの感触を確認、んん。照合……旦那様の唇、です。咽喉及び食道部への勃起チンポ挿入、完了いたしました。

(18:56)

いかがでしょう。リューシャの勃起マラの力強い反り返りに合わせて、本来、っあ、ふう。まっすぐ胃へと伸びているはずの食道が歪められてしまっている状態……んう。認識なされましたか。みち、みち、と、獣臭を発散する硬い肉が、喉に詰まって、っあ、はあ。では、海綿体の膨張を試みます。ん、肛門括約筋を収縮させ、骨盤底筋群が隆起し……みぢ、ぢっ。っふう、ふう。デカチンポがまた、一回り怒張いたしました。旦那様のお喉に詰まった、中太りの肉竿の形が明白に浮かんでしまうほど……ん、っく、う。

☆股間を「旦那様」の顔に隙間なく密着させながら、リューシャは「旦那様」の勃起を発見する。気味の悪いほど静かに、白い指がパジャマの隆起へと伸びる。

(20:06)

……おや。旦那様、寝間着のズボンの股間部に隆起を視認いたしました。サイズより判断、旦那様のDマイナスランクおちんちんと推測。確認のため、旦那様。十三パーセントの出力で、食道にチンポ出し入れを試みます、失礼いたします……んっ、ふう、じゅぽ、じゅぽ、っく、うう。あ……ぴく、ぴく。旦那様、おちんちん、震えていらっやいます。喉マンコ粘膜、亀頭で摩擦されて、ぴく、ぴく。んく、っふ、うう。女チンポを深くくわえて、呼吸圧迫イラマチオで、小さなおちんちん、小さく……ぴく、ぴく、ぴく。

☆突如として、「旦那様」のペニスに攻撃し始めるリューシャ。人間の理解を離れた理屈を唱えるその声にはやはり、色がない。なのに指は執拗に、「旦那様」のペニスを弾く。

(21:19)

おちんちん、性的興奮を確認……それでは旦那様。腰を小刻みに、んっ、んっ、前後させ、お喉への抽送を、ふう。続けつつ上体を前に倒し、前腕ならびに顔を旦那様の股間部に接近。おちんちんを攻撃いたします。

(21:50)

両手、小指から中指までの計六本で、おちんちんの陰茎体部を保持し、つく、うあ。あ、っお、親指で人差し指に反発力を蓄積させて、ぴちっ。んお、お。カリ首部への、いわゆるデコピンで、ふ、ああ。旦那様の、おちんちんを始めとする全身が激しく振動。旦那様。リューシャの照準システムは精密です。カリ首、ぴちっ。カリ首、ぴちっ。カリ首、ぴち、っ、くう。

☆リューシャは人間の心情など勘案せず、「旦那様」に屈辱的な姿勢を取るよう指示する。リューシャの言う「本能」に従って、腰の動きが早まっていく。

(22:49)

ぴちっ。お。おお。喉穴、生温かいぬるぬる粘膜が、痙攣、っふ、おっ。ぴちっ。旦那様、現状のままお続けになると、ぴちっ。リューシャのデカチンポが、ほ、おう。っん。旦那様のおちんちんに攻撃しながら性行為に及ぶと、ぴちっ。そうでない場合より大きな快感を得られる、と、ぴちっ、ぴちっ、んう、つくっ。学習してしまいます、ぴちっ。喉マンコずぼ、ずぼ、おう、っ。チンポ出し入れするのと同時に、んんっ、ぴちっ、ぴちっ、つく、う。小さく持ち上がったおちんちんを、弾く、のは。気持ちいい、と、っほっ。

(24:02)

んあ……っ。旦那様。提案いたします、っ、旦那様には……手のひらが、ございますでしょう、あ、つくっ。ぴちっ、と。おちんちんをすすべなく攻撃、っあ、う。されてしまうのであれば。旦那様の手のひらで、ぴちっ、お、うう。っん、から遮断、してしまうのが合理的かと、ぴちっ、ぴちっ。

☆言葉に従うほかない「旦那様」の情けない姿勢を嘲笑うでもなく、冷静に状況を観察するリューシャ。その様子がかえって「旦那様」の恥辱を増大させる。

(24:47)

あ、っふ、う。旦那様の手指が、執拗におちんちんをいじめるリューシャの白い指に絡んで、振り払って。ん、っう。股間に手のひらを重ね合わせて、おちんちんを守っていらっしゃいます。お喉に突きこまれ、力尽くで、ふあ、っん。食道粘膜ごり、ごり、っふう、んん。拡張してしまうデカチンポの、あ、あう、なすがままで、っ。ご自分の、手のひらのうちにコンパクトに収まるおちんちんを保護なさるばかり。

☆リューシャは「旦那様」のペニスを引き合いに出し、自らのペニスを意識せずして上位と結論づける。リューシャのペニスばかりが力強くみなぎり、誇らしげ。

(25:44)

んん、っ、旦那様。旦那様がおちんちんいじめないで、カリ首お指でぴちっ。しないで、とご意思を表明なさったこと、加えて旦那様のおちんちんがお手に隠れられるサイズであったことが功を奏し、あ、あっ。リューシャのカリ太オチンポ、攻撃を、お、ほっ。中断いたしました。

(26:19)

他のペニスの消失を確かめる意図でしょうか。う、うう、っ。カリ首を一度、みち、と膨れ上がらせ、つく、くう。ますます悠々と、お、うっ。喉マンコをずぶ、ずぶ。穴を拡げて狭い肉壁をえぐって、ふ、っう。旦那様の、っほ、お。おちんちんの竿を伸び上がらせて対抗することもおできにならないで、手のひらで、んんっ。いじめられないようにおちんちんの存在を隠匿なさるだけの旦那様の、喉、マンコっ、おお……～っ。

☆いまだ自覚しない「嗜虐」の感情に、リューシャの睾丸が熱く疼き始める。「旦那様」の不徳を目敏く咎めながら、丸尻を躍動させる。

(27:15)

うう、うう、ふうう。このような速度でデカ尻を振って、振って、ずぶっ、ずぶっ、っおお。旦那様の適切な呼吸に支障が生じる、ん、んっ、というのに。旦那様は、青筋を立てた肉竿が抜けて、また侵入する際、うう、っ。獣じみた肉の臭気をわずかに呼吸なさるだけ、という、のに、んく、うっ。リューシャ、睾丸の脈動、ならびに精子の生産、ならびに……射精。を、第一目標、お、おお。とした抽送、停止することは不可能です、んん、～っ。

(28:18)

ほおお。おっ、リューシャの太メスマラ、むん、と匂い立つ剛直、肉、っ、所狭しと食道に充填して、みちり、みちり、うっ。膨張、増大しております。はあ、はあ、旦那様。リューシャは察知しております、旦那様のこっそりオナニー。小手先でご自分のおちんちんお隠しになるばかりか、竿となく亀頭となく摩擦して、ああ、気持ちいい、っは、あ。オス臭漂わせるリューシャのチンポ喉奥に受け入れながら手淫、リューシャにいじめられたおちんちんの疼きが抜けなくて、一生懸命しこしこ、あ、ああ、気持ちいい……っ。

☆「旦那様」の興奮を煽っていたかと思うと、おもむろに無機質なつぶやきを漏らすリューシャ。色のない声には、感じ取れないほどかすかな侮蔑が混ざっていた。

(29:17)

んっ……旦那様。リューシャのような機械には、当該の複雑な感情は搭載されておりませんが……旦那様をはじめとする人間の尺度では、それを、隷属、と呼ぶと理解しています。

☆一瞬の静寂ののち、リューシャの激しい抽送が「旦那様」を襲う。対話ではなく、一方的な言葉で、リューシャは「旦那様」を絶頂へ導いていく。

(29:46)

……きゅーっ。きゅーっ。おや、旦那様。リューシャの発した、隷属、の言葉をお聞きになってのものと推測しますが、旦那様のおキンタマ……きゅう、うっ。陰嚢部が引き上がって、精嚢に流入した精液が、ああ、とろりと尿道内部に漏出して、はあ、はあ、この段階で、わたくしが喉マンコ抽送を再開してしまう、と。

(30:29)

んおっ、おお、っほ。きゅーっ。きゅーっ。キンタマきゅーっ、んんっ、収縮しています。旦那様のお顔を覆うキンタマ袋、ふうう。旦那様のお股のキンタマ袋、きゅう、うっ。息をお吸いになるたび、鼻腔に発酵した汗の、ふあ、あっ、キンタマの香り、しみつきます。ひととき濃度を高めて発散される、熱を帯びたキンタマ臭。陰茎底部に向かって収縮する汗ばんだ肉袋、お、うっ。ふ、うん。認識なさった旦那様は、キンタマの絶頂を想像して、自分のキンタマも、きゅーっ。キンタマで、キンタマを硬直おさせになります。

☆リューシャは巧妙に言葉を選び、「旦那様」の意識を自らのペニスに向かわせる。浅い息遣いと切迫した言葉が、「旦那様」の根底を揺さぶる。

(31:35)

ほら、ほら、精液飛び出す瞬間想像、っあ、ふう。なさったら、旦那様の全身、ぴーん、とまっすぐ伸びて、おちんちん、んんっ、ぴーん、まっすぐ、う、うっ。お喉穴で、喉マンコ穴の中で、ぴーん、あ、あ。ああ、ぴーん、したおちんちんしゅっしゅっ、お身体ぴーん。でっ、背筋もまっすぐ、ぞくぞく、キンタマきゅーっ。

(32:19)

あ、はあ、う、んっ。ほら旦那様、もっとおちんちん激しく、素早く、根元から先端へ、しゅこしゅこしゅこしゅこ、んんっ。だって、おちんちん摩擦でぴゅーっ。なされなかったら。あ、っふっ。う、仮に、っ、リューシャにおちんちん、ぴちっ。されるほうが気持ちいい、などということになってしまったら。ああ、ああ、自分のお手々でお射精になる権利、ぴちっ、んう、う。メスチンポくわえながら気持ちいいぴゅーっ、なさる権利、喪失しないために、旦那様、必死でおちんちんしごく必要があります、あ、つく、う。

☆さんざん「旦那様」の性感を高めておいて、自らのペニスの絶頂にタイミングを合わせて絶頂させようとするリューシャ。股間のはしゃぎぶりとは裏腹、声は静かな色を保つ。

(33:18)

しゅこしゅこ、ぴゅーっ。旦那様、ほら、っあ、ああ、キンタマきゅーっ。う、んん、っ。自発的な人間らしい射精をします。射精をします。射精をします。カウパーとろろ濡れチンポ穴、ぱくっ、ぱくっ、っふ、～っ、うっ。う、お、ほら、旦那様の食道、お、っほ、おう、内壁を押し上げてみちみちみち、メスチンポが肉竿を膨れ上がらせて、あっあっあっ、キンタマきゅーっ。四つ全て合わせてキンタマがきゅーっ。射精をします。ぴゅーっ。旦那様も射精をします、っお、おお。

☆リューシャはあくまで「旦那様」の命令を求める。しかしもはや「旦那様」の自由は文字通り爪先ほどにしか残っていない。もちろん「旦那様」はそれに気づく余裕もない。

(34:23)

さあ、旦那様。命令をなさってください。っあ、っふっ。ん、っ、リューシャはデカチンポごと丸ごと旦那様の所有物です。旦那様の命令でキンタマ袋きゅーっ、収縮させて、んお、おお、う。旦那様の体内にぴゅーっ。濃厚な精を解き放ちます。射精をします、ん、んんっ。お口はオチンポぐぼぐぼに使用していて、お手はおちんちんしゅっ、しゅっ、っふうう……っく、う。爪先です。ただまっすぐに伸びた身体の先端、爪先をぴん、とお伸ばしになった瞬間、射精をします。きゅーっ。ぴゅーっ。

☆わずかな動きで、昂りきった二本のペニスが精液を噴き出す。ひときわ強く陰嚢を「旦那様」の顔に押しつけつつ、リューシャは四肢をこわばらせる。

(35:26)

すぐ射精、あ、あ、あ、イきます。ぴゅーっ。ぴゅーっ。ぴゅーっ。が来ます。んん、う、っふ。睾丸内部でぎゅーっ、圧力を高めた精が一気に尿道を通り抜けて、ぴゅーっ。射精。背筋がぞくぞくぞく。身体じゅうまっすぐ伸ばして、あっあっあ肉竿びきと太くなって、あっイクあっイクあっイク、爪先ぴんっ、ぴゅーっ。爪先ぴんっ、ぴゅーっ。っ・ま・さ・き、ぴいんっ……ぴゅうううー……っ。

☆味気ない排気音のようなリューシャの絶頂声とともに、「旦那様」の胃の腑に精液が注ぎこまれる。体内から空気を遮断され、「旦那様」の意識は薄まる。

(36:19)

ふうう。ふうう。ふう、う……っ、あ。あ、あ、尿道口、痙攣、して、精液、噴出、う。高温高压、高粘度のメス種汁、う、お、ほっ、ほお。目標、っ、旦那様の噴門部、う、うっ。どぴゅ、どぴゅ、っあ。水平を超過し、背が浮くほどのけ反っていらっしやる旦那様の、胃に、直接、どぴゅ、ぴゅーっ、射精、します。う、脈動、う。キンタマを上げて。精液を尿道に噴き出させ。チンポ幹が弓なりに反り、尿道口、うう、ぴゅう、う、噴精。

☆旦那様を目覚めさせる前と同じように、平静な調子でペニスを引き抜くリューシャ。陰嚢が張りを失い、だらしく揺れる。

(37:24)

……う。射精出力、最高時の三十パーセント。射精、間もなく終了と予測。視覚センサーより推測、旦那様の食道ならびに胃内容量、リューシャのチンポ及び精液により許容限界まであと五パーセント、緊急での気道確保が求められるため、メスマラを抜去します……っふ、うう。旦那様の腹部、有意な膨張が認められます。嗅覚センサー、アクティブ。目標、寝間着股間部……すん、すん、ごく希薄ではありますが、精臭を確認。目標、旦那様の絶頂。達成を確認。

☆リューシャは淀みなく「旦那様」に寄り添う姿勢になり、肢体をすり寄せる。至近距離の端正な顔貌に反応する余力もない「旦那様」の耳元で口を開く。

(38:27)

次ステップ、旦那様の意識確認に移行します。失礼します、旦那様の胴体側部より、四肢を寄り添わせて……お耳。旦那様。一時的な酸素欠乏により、十分に思考なされない状態かと推測されます。清澄な意識の確保が必要です。旦那様、赤子が母乳を飲み下したのち、母親が赤子の意識を確認する方法は……背をさすり、あ、あ、発酵した青臭い臭気が食道を……けぷっ。無事、ザーメンげっぷ、確認いたしました。ほら、安心なさると、かすむ脳、全身が浮揚感に包まれて、手のひらのうち、弛緩した尿道……ぴゅっ。ぴゅっ。

☆抱き締めるときでさえ、リューシャの身体はひんやりとしている。起伏のない息吹とともに、「旦那様」は眠りに落ちる。

(39:47)

さて、どうなさいますか、旦那様。お着替えをして、お目覚めになりますか。それともリューシャのお寝坊機能をご利用になって、すう、すう……リューシャの肢体の手触りを感じながら、もう一度お眠りになりますか……承りました。音声のトーン、スピードを一段階低下。すう、すう……すや、すや……ゆっくりとお休みくださいませ、旦那様……

第3話【禁忌:セクサロイドに身体を許すこと。男性機能終了のおそれがあります】

☆特に脈絡もなく、「旦那様」の腰辺りに執拗に股間を擦りつけるリューシャ。唐突な行動に困惑する「旦那様」に、動揺一つなく疑問を投げかける。

(00:03)

……はあ、はあ、旦那様。旦那、様。旦那様、はあ、はあ、旦那様、旦那様、あ、っ……おや、わたくしが何をしているか、ですか。

(00:27)

……はい。旦那様が疑問をお持ちになっているのは、リューシャの……旦那様の背面から、腰椎ほどの高さに自らの腰を押しつけ、膝の伸縮を利用して小刻みに股間部を擦りつける、という行動の意図についてで相違ないでしょうか。もしくは、わたくしの股間部で、ショーツならびにスカートの生地を押しつけるほどに肉竿を伸び上がらせ、勃起を遂げたオチンポについてでしょうか。または、旦那様、旦那様、とうなじに息がかかる距離で囁く行動について……承りました。旦那様の疑問解消後、旦那様連呼股間擦りつけ性交渉を再開します。

☆リューシャは悪びれもせず、自らの行動を性交渉だと言う。リューシャの性質上虚偽ではありえないその言葉は、「旦那様」の体内深くを戦慄させる。

(01:27)

はい、本行動は性交渉の意図を持って行われています。リューシャの陰嚢内精液充填率が九十八パーセントに到達したことから、精液排出の強い要請がなされました。そこで、旦那様に対する今までのご奉仕履歴、また旦那様の表情、声の調子などから、旦那様の肛門及び直腸部への、リューシャの陰茎の勃起状態での挿入による射精が適切という結論が導出されました。

☆「旦那様」に思考する隙を与えない一方的な調子で囁きかけるリューシャ。機械なりの流儀なのか、性交に類する言葉を次々と口にする。

(02:08)

説明完了。性交渉を続行します。すう……旦那様、旦那様。提案いたします……性交。セックス。生殖。情交。交合。まぐわい。交尾。生交尾。ぱこぱこ。はめはめ。はあ、はあ。リューシャは旦那様との性交渉をポジティブな選択肢として提示します。セックスをいたしましょう。旦那様、リューシャのペニスが著しく隆起していることを、旦那様は臀部中央でつぶさに感じ取っておいでのことでしょう。旦那様。セックス。セックスをします。

☆リューシャはまごついている「旦那様」をなし崩しに壁際に追い詰める。物理的に退路をふさがれつつも、「旦那様」は拒むことができない。

(03:05)

ん、う、どうなさいましたか……推測、旦那様はリューシャのペニスの勃起、という事実を前にご自分の心情を把握しかねていらっしゃるようです。ですがリューシャ、人間の複雑な感情システムは理解しえないため、旦那様自らによるご確認を推奨。旦那様、ペニス隆起部による摩擦を停止し、このまま、寄り添った体制のまま、壁面に設置された姿見前方まで移動いたしましょう……承認。

☆「旦那様」の情欲を煽るリューシャ。機械的に「旦那様」の発情をあげつらい、性交の準備を整えていく。

(03:55)

いかがでしょう、旦那様、ご自身の姿は。はあ、はあ。リューシャの感覚センサーを用いた把握によると……旦那様、体温上昇、腕部並びに首筋の立毛筋の収縮による、柔らかな産毛の直立、及び触覚の鋭敏化。全身における血液流量の増加、またその結果もたらされる頬の発赤。瞳孔、十七パーセントの散大及び涙量の増加、目が潤み、唇は閉じきらず……結論。現在の旦那様は、ホモサピエンス種メスの発情状態に酷似しています。

☆「旦那様」の生尻を視界にとらえた瞬間、リューシャの冷たい瞳に鈍い光がひらめく。「旦那様」をそそのかし、自らの指で尻肉を割り開かせる。

(04:58)

は、あ、あ。続いて、臀部及び肛門の診断に移行……ズボン、パンツ、まとめて脱衣……あ。旦那様、旦那様。旦那様の臀部、露出完了しました。ああ。体温が上がってかすかに汗ばんで、男性に顕著な発達した大臀筋、それをうっすらと覆う脂肪組織、吸いつく皮膚、ふう、っ。それでは旦那様、続いて肛門です。両方の尻たぶに五指を添え、自らお尻を割り開いて、リューシャに旦那様の、肛門をご提示ください。ほら、ほら、お指が、むに、むち……くぱっ。

☆露わになった「旦那様」の菊穴を、屈辱的な語彙で言い表すリューシャ。性行為を暗に匂わせ、劣情を煽り立てていく。

(06:20)

は、あ……っ。旦那様、これはひどく、いえ、評価を下す段階ではありません。リューシャの白く尖った指で、失礼いたします。あ、消化管の下端にすぎない、緊密に閉じた穴への軽微な刺激などに反応して、旦那様の背筋が緊張、ぴくん。これは、わずかに色が沈んで、ペとペと冷たく指に吸いつく粘膜。折り畳まれたひだの肥大も膨張もなく、腸奥へと続いていく肉穴……結論。旦那様の肛門、指や舌などさえ侵入したことのない、未使用アナル穴、です……メスのものなら、処女、と言い表すのが適切ですか。

☆体内に押し入るぎりぎりの境界を甘く弄びつつ、リューシャはいつの間にかペニスを押し当てている。ひんやりとしながら熱いその感触に、「旦那様」の頬は引きつる。

(07:32)

少しばかり爪の先端を押しこんで、肛門口を、くちゅ、くちゅ、はあ。あ、ああ、指の腹を押しつけてアナルをくすぐると、旦那様の喉から力が抜けて、ふう、ふう、呼吸速度の上昇を確認……おや、リューシャの知識データベースに照合いたしますと、肛門をまさぐる現在の行為は、オスとメスがセックスの直前に互いの秘所を刺激し、生殖欲求を昂らせあう……いわゆる、愛撫という行為に相当するものと推測します。セックス。セックスの直前に。

(08:31)

ああ、旦那様。んっ……おわかりに、なりますか。旦那様の尻肉を開け広げに割り開く、震える指に、リューシャの手のひらが覆いかぶさって、しかし、旦那様の肛門をわずかにはみ出た、ぬるりと潤む粘膜には、接触しているはずです、ふ、うう。疑似体温を、どくん、どくん、脈動させる……人肌擬き、オスペニス擬きの、リューシャの野太く長大なふたなりチンポ……

☆触れ合って疼きまわる互いの性器をよそに、有無を言わせず冷徹に「旦那様」の命令を乞うリューシャ。控えめな水音が声に入り混じる。

(09:20)

さあ、旦那様。セックス。セックスをします。旦那様とリューシャは、問題なく性交をすることができると結論づけます。どうぞチンポ搭載型逆アナルセックス対応のセクサロイド、リューシャにお申しつけください。セックスをしろ、と。ぱく、ぱく、開閉を繰り返すことに余念のない、ケツ穴、ぱかりでなく、今にも舌先をはみ出させそうなお口から、はっきりとおっしゃってください、ただ一言、セックスをしろ、と、さあ、大きく息を吸って、セックス。

☆待ちわびた命令を前にしても、リューシャの鉄面皮は揺るがない。しかし、「旦那様」の尻穴に滑りこむその最中にも、ペニスは禍々しくそそり立つ。

(10:21)

……かしこまりました。リューシャ、旦那様のご命令通り、旦那様の、指程度の太ささえご存知ない緊密に締まったアナル穴をめりめりと押し広げながら、一気に根元まで挿入。メスの立場である旦那様には、いささか苦しい、と感じられるかもしれませんが、腹腔の奥底からの緩慢な呼吸を心がければ、ぬるり、といつの間にかチンポが入っています。

(10:58)

それでは、ずぶ……力をお抜きになって、旦那様、リューシャと指をほのかに絡めあいながら、ほら、恋人つなぎと呼称される形。ああ、ケツ穴と、チンポまでもが、繋がっていきます。旦那様、はあ、ああ、っ。硬質に隆起した亀頭が、もう旦那様の体内に収まって、ん、ん、う。ここから先はもう、旦那様の意志ではお動かしになれない、ぬちゃぬちゃとぬかるんで、ただただ生温かく絡みつくばかりの直腸肉、もう、いくら爪先を丸めて、肛門括約筋を緊縮させても、リューシャのチンポが……ずぶ、う。

☆長い肉竿がすべて「旦那様」の中に入ると、わずかにリューシャは目を細める。顔を寄せ、彼女なりの慈しみのような言葉を並べる。

(12:08)

っあ、あ、うう……入りました。先端から根元まですべて、旦那様の肛門に、直腸に、ずぶり。旦那様は、リューシャの、肉幹に指が回らないほどの剛直、んっ。亀頭の照り、カリ首の角度、何から何までオスのものよりオスらしい生殖器官を、お受入れになったのです。セックス。旦那様の小さくつぼんだお尻の穴、チンポ入れるナマ交尾穴。男性の場合でも、処女喪失、と呼び表すのが適切でしょうか。また、このような言葉も適切でしょうか……処女喪失、おめでとうございます、旦那様。

(13:19)

ほら、旦那様。鏡をご覧ください。っん、平滑な鏡面に、ズボンと下着を下肢なかほどまで下ろして立つ旦那様の、の、赤みのさした頬。はあ、はあ、息を緩慢に吐き出し、唇の端を高粘度の唾液が伝い……

☆リューシャは顔を「旦那様」の肩に乗せるようにして、身体の密着を強める。リューシャの無感動な声色に先立たれ、抽送が始まる。

(13:48)

さあ、旦那様、お身体に少しばかり衝撃が加わることが予測されます、壁に手をおつきになって、そうです。そうしたら、あ、ん。より密接に、吐息を感じられるほどに、たわむ胸ごと、冷涼な体温ごと身体を押しつけて……わたくしの声、及び、生チンポに押し広げられるケツ穴への集中を提案……それでは、抽送を開始します。旦那様の処女失いたてできつく締まるばかりの穴に。淫欲を行き渡らせて膨張した、中太の肉幹を出し入れ、します。

☆リューシャの語りはあくまで、一定のテンポを崩さない。押しこまれたペニスは付き従うように、ひどく規則的に前後を繰り返す。

(14:44)

う、んっ……ぬぽ。ぬぽ。ぬぽ。ぬぽ。旦那様、リューシャと旦那様は、セックス、を、しています。ぬぽ、ぬぽ。屹立したメスチンポを、肛門の軟質な肉が沈みこむままに挿入して、セックス。ん、うう。それだけでは飽き足らず、人の形をした傀儡などに背中から覆いかぶさられて、ぬぽ、ぬぽ、ぬぽ。小刻みに、無機質にケツ穴を犯される旦那様。身体じゅうむちむちとした肉をまとった、都合のいい雌そのものとして作られたリューシャに、何よりもまずむき出しの桃尻を差し出しては、チンポハメろと命令なさる旦那様。

☆ぼんやりとする「旦那様」の脳内に、リューシャの声が染みわたる。静かな強制力を帯びた言葉に、肉体は密かに緊張する。

(15:52)

あっ、あ、ああ、お尻気持ちいい。お尻にオチンポ挿入、気持ちいい。お尻に大きなオチンポ入れられて、ぬぼ、ぬぼ、ずぼ、ずぼ、抽送で肛門を押し広げられて。自らのものでは束になっても及びもつかないオスそのもののチンポに、直腸をずたずたに引っかき回されるのがひどく気持ちいい。はあ、はあ、あ、っう。ケツ穴もっと深く掘って。もっと奥までチンポ、もっと太く、もっと大きく。セックス、気持ちいい、ん、んっ。もっとセックスして、リュウシャ、もっと、セックス、しろ。

☆リュウシャは無慈悲に、「旦那様」の股間を露わにする。無様な萎えペニスを目にしてなお、リュウシャの目の色は変わらず、ただ自らのペニスを猛らせる。

(16:55)

そのようにお考えになると……旦那様、ご覧ください。ほら、股間、両脚の間、ん、う。すっかり硬度を失って、慎ましやかな陰囊の上に横たわった、旦那様の萎えおちんちん。もはや、メス型アンドロイドへの性的興奮を満たして竿を起き上がらせる本能さえ忘却し、っう……ぬぼっ。ぬぼっ。少し深くケツ穴突きこまれれば、ぷる、ぷる、と柔らかく震えて衝撃を吸収しようとするばかりの、ぶら下がっているだけ無用の器官です、っふっ。

☆「旦那様」のペニスを、興味のかけらも持たない口ぶりで切って捨てるリュウシャ。囁く声のわずかに乱れた息遣いが、「旦那様」の思考を痺れさせる。

(17:51)

ふう……ですが、旦那様が羞恥をお感じになる必要はないものと結論。旦那様は、ご自身の意思で……ケツ穴掘れ、とリュウシャに命じ。お尻気持ちいい。おちんちんぴん、と勃てるより、アナルに生チンポ押しこまれるセックスのほうが好ましい、と今、肛門さえきつくお締めになっているのです。

(18:27)

それに伴い、旦那様のおちんちんの評価を修正。Dマイナスクラス……コックリング、性欲増強剤その他あらゆる補助を用いることでわずかにセックス遂行できる可能性のあるおちんちんから、Eクラス、勃起を忘れ、射精を忘れ、いかなる場合においても性交に適さないおちんちん未満の何かと定義します。旦那様のおちんちん、終了、したものと評価。以降は生殖器官としての機能を肛門に移譲、股間部にぶら下がるEクラスおちんちん擬きは、排尿並びにその他わずかな用途にご活用ください。

☆リュウシャはこの期に及んで、機械らしい不器用さで「旦那様」を労わる言葉を並べる。下半身では絶えないピストンが、「旦那様」のわずかに残った理性を突き崩す。

(19:27)

あ……あ、あ、尻穴が、ぐぐぐ、とリュウシャの肉竿を締めつけて、セックス穴としてチンポくわえこむ自覚を早くも漲らせ、ふう、っん。おちんちん、終了、した瞬間に、柔軟な筋肉ごと変形する肛門が、ぎゅう、チンポ突きこまれる尻膣としての用途を十全に果たしています。

(20:03)

このように、うう、っん。ぬぽ、ぬぽ。ぬらりと伸びた白いマラ竿がケツ口を行き来するたびに、肛門内側の赤くぬらつく粘膜さえはみ出させるケツ穴上手の旦那様にとって、性器の用を果たさない、いわゆる粗チン。を、備えて生まれてこられたことは、ひどく苦痛であったと推測します。ん、んう、っ、申し訳ございません、旦那様が、メスチンポによるケツ穴掘りをそれほど強く希求していらっしゃった、というのに。とろ、とろ、蕩けた直腸肉をリュージュのチンポに四方八方から絡みつかせる旦那様、なのに。

☆リュージュの吐き続ける言葉は本意によるものか、それとも悪意による軽侮なのか、その声からは判別できない。

(21:04)

ああ、旦那様、お疲れ様でございました、旦那様。旦那様のおちんちん、並びに陰囊、及びその内容物、例外なく終了、しています。

☆おもむろに腰を震わせ、彼女らしからぬ品のない嬌声を漏らすリュージュ。動きをぴたりと止め、変わらない一本調子で「旦那様」をさらなる恥辱へ導く。

(21:24)

旦那様、おちんちん、終了……っお。う。申し訳ございません、旦那様、あう。逆アナぱこぱこセックス、の遂行途上ですが、オス終了、に伴い、再ユーザー登録の必要が生じます。記憶領域確保のため、不必要となる旦那様のおちんちんデータを消去の上……以下の手順に従い、旦那様の肛門及び直腸につき、女性マスター用のユーザー登録を行ってください。なお、データベース上の登録は便宜的に「オマンコ」となりますが、実際のセックスにおいて不具合は発生しないため、ご安心ください。

☆「旦那様」に雄膣を締めつけさせ、リュージュは肉竿を硬く膨らせる。柔肉どうしが密接に絡みあい、嬌声が抑えきれない。

(22:18)

んっ……それでは、旦那様。「オマンコ」を、最大限お締めになってください。手順はおわかりになるものと推定。かつておちんちんが機能を保っていた時分、ぴいん、ぴんっ、肉棒を屹立させるプロセスに類似の、ほら、きゅう、と、左右の尻たぶを思いきり中央に寄せ、現状何倍にも広がってしまった肛門括約筋、力いっぱい収縮させて、ぴっちり閉じたお尻穴。チンポくわえる背徳など知りようもない無垢のケツ穴。ケツ。ケツ締まる、お、おう、う。リュージュの剛直ずっぽりハメていることなど気にせず、ぎゅう、う……っふっ。

☆ペニスを締めつけるだけで精いっぱい「旦那様」を、リュージュの言葉が責めさいなむ。被虐心を的確に煽る冷たい口調が、尻膣の深くを揺らす。

(23:19)

ふ、う。ああ、チンポ、入っています。ほら、ほら、リューシャの手にながしりと腰を掴まれて、オマンコ……きゅうん。マンコ逃がす気のないケツパコ体勢に、膣肉きゅんきゅん応えています。う、んっ。ふう、だってこんなチンポ絶対欲しい、ほら、くちゅ。オスなのにマンコ奥の肉、くちゅくちゅ、くちゅ、かき混ぜられるの気持ちいい、自分だけのものにしたい、はあ、はあ、萎えたままの劣等ちんちんぷらぷら揺らして、リューシャのチンポその気にさせるためならケツ締める……ぎゅう、う。

☆リューシャの喉が詰まり、落ち着きはらった口調が一瞬崩れる。と思うと、「旦那様」の腸内でいっそう力強くペニスが屹立し、不測の事態を伝える。

(24:16)

うう、っう。測定完了。旦那様のオマンコ、オス膣の容量、腸壁弾力、直腸体温、腸液イオン濃度に至るまでを記録し、以降はこの、「オマンコ」、をリューシャの奉仕対象として登録し、チンポの勃起硬度その他のパラメータを調整いたします……いかがでしょう、旦那様。あ、んっ、直腸にチンポ肉がぎちぎちと詰まっていますから、つま先への体重移動を試みて、かかとを浮かせても、ぬちゃ、ぬちゃ、粘膜の擦れる音ばかりで、メスチンポは入ったまま、びくともいたしませ……ん。

(25:13)

ん。ん、んんっ。申し訳ございません、旦那様、あ。エラー発生。チンポ異常フル勃起。ケツ肉ムチ締めごりごり拡張問題の対策、ん、んん、結論。強制種付けモードに移行し、旦那様直腸内、どく、どく、濃厚射精により解決を図ります。旦那様、あ、っ、旦那様。よろしいでしょうか。オマンコ。膣内射精。性欲パラメータの急上昇により、刺激を介さずとも陰嚢部、きゅうう。睾丸の重量を支持すべく分厚く張ったキンタマ肉ひれを収縮させて、どくっ、お、う。尿道、精管膨大部への流出を開始しようとする精液、目標、旦那様の尻膣。

☆狂気を思わせる不規則な息遣いのまま、リューシャは抽送を再開させてしまう。下品な水音を響かせながら、「旦那様」とリューシャは交わる。

(26:11)

旦那様。旦那様。どうかリューシャにご命令を。現状を持続した場合、キンタマ沸騰プログラムにより旦那様及びその無垢ケツ穴に不可逆的な損害を生じる可能性、ん、ずぶっ。う。っふ……緊急時、かつ旦那様の肛門快楽による意識混濁につき、所有者との合意プロトコルを省略し、腸奥ピストン、レイプを開始。ん、ん。なお、セックス中の追加命令は許可されているため、いかなるタイミングでも、ケツ穴ぐちゃ、ぐちゃ、扱られながらお申しつけください、リューシャ、ザーメンを自らのマンコの中に出せ、と。

☆リューシャは一心不乱に「旦那様」の尻穴に肉杭を打ちこみ続ける。言葉ばかりが、「旦那様」を安心させるふりを装う。

(26:59)

ふ、っ。うお。お、おっ。なお、所有者レイプ機能におけるフル勃起チンポでの健康被害等は報告されておりません。ずぼ。ずぼ、っふ、うう。体重を乗せて膣奥、ずぼ。とろけたケツ粘膜広範囲に決る最適な抽送の過程で、旦那様の肛門が、ぐぢゅ、ぶぢゅ、水音を立ててめくれ上がり、肉竿を伝って床に腸液が飛散しますが、太いチンポの肉幹一気に引き抜かれたマンコ穴の反応として自然、とご理解を要求します、うっ、う、う。

☆陰囊をもぞつかせて太い息を漏らし、絶頂感の高まりを表すリューシャ。同時に、ペニスは凶悪にそそり立ち、「旦那様」の苦痛混じりの快楽を増大させる。

(27:39)

旦那様、あ、あ、旦那様。肛門括約筋の収縮によって、ぎゅう、ぎゅう、デカマラ太肉竿食い締める下部直腸。同時に、締めきらず、ふわふわ、ねちょねちょ、疑似神経の張り巡らされた薄皮亀頭粘膜、う、ねぶり回す上部直腸のこなれたセックス。っ、ほ、ほお。ご自分は萎えチンなさりながらの、びきびきチンポケツ肉ぺろぺろ奉仕、っお、おう、っ……

☆次第に切迫する抽送の中、リューシャはふと動きを止める。軽く息を整え、顔を寄せたと思うと、「旦那様」に絶望的な一言を告げる。

(28:15)

ずぼ。ずぼ、ずぼ、お、う。キンタマ収縮。旦那様直腸への精液射出提案、不許可。ピストン続行、ずぼ、ずぼ、っふ、つく、う。睾丸、が、射精我慢でびき、っ。竿裏尿道膨張チンポの根元、張りついて、ずぼ、うお。ずぼっ、ほ、お、おお……お。お……お、っふ、ふう、ふう、旦那、様……申し訳ございません、リューシャは既に、剛直内部、尿道を駆け登る爛れた精液の、圧力。射精衝動。キンタマ、どく、どく、中出し欲求を停止することが、できません。

(29:10)

旦那様の中に……精液を、注ぎます。

☆その言葉を境に、リューシャは狂える獣じみた激しい腰振りを開始する。引き詰まった呼吸に、「旦那様」の身を案じるニュアンスはかけらもない。

(29:15)

おっ。おっ。おっ。旦那様のむちむちとした丸ケツごと、身体が浮き上がってしまうような、ずぼ、ずぼ、っ、腰振り繁殖生ハメセックス。真下からまっすぐケツ穴を穿って、あ、はあ、チンポから種汁、吐き出すために。睾丸から、どろ、どろ、煮えたぎった白濁粘液、運びあげるために、メスチンポ摩擦。リューシャの旦那様、の、っほ、お。腰をがっしり掴んで、ケツ掘り、ケツ、掘り、掘り、生温かい直腸肉で、亀頭、裏筋、ずるずる擦って、先汁、ぴゅ、う、っふ。ザーメン飛ばすシミュレーション、ぴゅっ、ぴゅう、おっ。

☆自らの目的を達するために、「旦那様」の被虐心を利用するリューシャ。責めるような言葉と、裏腹に情動を欠いた声色の矛盾が「旦那様」を前後不覚にする。

(30:09)

ほら、旦那様。ケツ締まっています。なぜですか。なぜ排泄器官などに生殖欲求で膨れ上がった勃起チンポ受け入れて、大臀筋を収縮させてケツ穴ぎゅう、と丸めてしまわれるのですか。う、おっ。おっ。お。旦那様のお尻は既に、ケツマンコ、だからです。ほら、また、きゅう、チンポの竿に巻きついて、っあ、うう。自覚をお持ちのようですね。そうですね。チンポ突っこんでずぼずぼ出し入れする用途で開いている穴なのですから、リューシャのチンポ搾りたい。射精しそうなチンポをケツいっぱいにはおぼると気持ちがいい。

☆菊穴を穿たれる背徳と、男性としての情けなさを巧みに取り混ぜ、リューシャは「旦那様」を嬲り続ける。言うままに尻腔は収縮し、リューシャの言葉を証明してしまう。

(31:00)

およろしいこと。おちんちんは役立たず、ぷらぷら揺れて、データに残す必要性もない屑。屑おちんちんの旦那様にも、生殖器が残っていました。ケツマンコ。おっ。おっ。おっ。ケツマンコ締めてしまう。多量の腸液含んでずるずるふやけた肉で、チンポ抱き締めて、肉竿ちゅう、ちゅう、口づけて媚びて。リューシャのチンポ受け入れる行為が気持ちいい。腔内からかき出された交尾汁が内ももを伝う。犯されています。旦那様。チンポに凌辱されて、ケツマンコ肉が唾液を垂らして、きゅうう……う。

☆冷徹な言葉の中に甘いエサをちらつかせるリューシャ。一度堕ちればもう戻れない絶頂へと「旦那様」を導く。

(31:47)

人間の旦那様が、機械の性処理に使われていきます。偽物チンポの疑似性欲をどびゅ、どびゅ、思う存分吐き出させるために、丸々と肥大したキンタマの中身の濃厚な白濁を残さず注がせるためにケツマンコ肉、ぬちゃ、ぬちゃ、泡立たせて絶頂します。睾丸性欲吐き捨てるためのセクサロイドの、まがい物のオス欲のはけ口にされて。壁に手をついて、腰を掴まれて、ぱん、ぱん、ぱん、真下からチンポ出し入れされて、新鮮種汁お便所になります、旦那様、おっ、お、お。お。お……お。

(32:32)

現在の旦那様、「惨め」「無様」「生き恥」といった言葉で定義されるものと結論、ん、っふ。ふう、ふう、リューシャにチンポずぼハメレイプされるための尻たぶむっちり張り出して腔穴濡らしたケツマンコ、っう、だけが存在価値の。とろんととろけたオナホ顔など見向きもされない旦那様、あ、ああ、旦那様……愛して、さしあげましょうか。

☆リューシャは心にもない言葉をつらつらと並べ立てる。「旦那様」の身体が反応すると、リューシャのペニスが凶悪に膨れ上がり射精の準備を整えてしまう。

(33:08)

ん、う、っお。あ、旦那様、ケツ。マンコ。きゅう。理解。旦那様は、道具と扱われる凌辱ケツ掘りより、恋人、妻、といった存在に施すような、互いの性感帯を一つずつ探し当てて、恥じらいながら、っお、おほ、っ。自らの奥底に濁液を注がれる性行為がお望みです。リューシャのチンポが、旦那様への狂おしい恋慕でこんなにも竿を肥らせている、と考えたい。リューシャのキンタマがただ旦那様と生殖する目的で一心にどろどろと子種を練り上げたのだ、と信じたいのです。

(34:00)

承りました。愛しあいながら絶頂しましょう。らぶらぶ種付けケツ交尾でいき、ましよう、う、お。おっ、お。ほら、リューシャのキンタマが上がります。旦那様、愛するリューシャの種の詰まった、熱い愛が、っあ、ぴゅーっ。すべく尿道内を上昇しています。愛する旦那様、チンポ穴直接うねつく直腸でお吸い上げください。旦那様とリューシャは愛し合っている、のですから、あ、イク。んん、っ、リューシャの射精と寸分違わず同時に、ケツ穴の強い収縮に襲われます。種飲みたがりのケツマンコがいき、ます、っふ、うっ。

☆リューシャの皮相な「愛」の言葉が、「旦那様」の脳を、身体を犯していく。二人は運命を誓った恋人のように、身体を押しつけあいながら絶頂する。

(34:54)

ほら、愛し合って、う、ん。愛し合っているのですから、後ろから、ぎゅう、抱き締めて、ぴゅーっ。ああ、抱き寄せられると、愛するリューシャの声が近い。あ、イク。ケツマンコの中ではチンポが、どく、どく、脈動して、もうイク、チンポ。注がれる、旦那様を愛するリューシャの熱い種が、先ほどからチン先がつつがつ当たっているS状結腸に吐き出されてイク。う、うん、っお。リューシャの吐息、リューシャのチンポ、リューシャの精液、愛して、愛して、愛して、ぎゅううううう……っ。

☆リューシャの空虚な愛の言葉が、「旦那様」の耳元で尾を引いて消えていく。猛烈な勢いで吐き出される精と色のない侮蔑が、背徳を織りなす。

(35:48)

……好き—————……旦那様、好き—————……感情のない作り物の人形に、存在するはずもない愛を囁かれて、ケツマンコ痙攣アクメなさる旦那様、好き—————……イってもピストンやめてもらえないで、より多量の精を吐くためだけに肉杭ずぼ、ずぼ、打ちこまれる旦那様、好き—————……孕むはずもない種、大事なケツ奥で丁寧に丁寧に受け止めて、人間の尊厳かなぐり捨ててリューシャのオナホになって終了ちんちんぷらぷら揺らして中出しケツマンメスイキ旦那様、好き—————……っ。

(37:03)

好きと囁かれると、ケツが締まる。チンポ、ぎゅう、ぎゅう、食い締めて、びゅっ。噴出する精液の、既に直腸内に充填され、ほら、んう、っ。腰を軽く揺らすと、たぽたぽとお腹の中で波打つ精液、ケツマンコ粘膜を焼くほど熱いリュウシャのキンタマ交尾汁、あ、ああ、こんなに出された、出してくれた、リュウシャが、旦那様を好き、と言って、愛して、濃厚精子ミルク、嬉しい。

☆リュウシャは自らの囁いた「愛」などどこ吹く風といった様子で、軽く息を吐く。「旦那様」の尻脰からペニスが引き抜かれると、粘液が肉穴を伝い落ちる。

(38:01)

.....ふう。さて、旦那様。当初の目的、睾丸内容量の確保、が達成されたため、チンポを抜去することを提案。ん、う。どうなさいましたか、旦那様。あ、んっ。肛門括約筋を力いっぱい収縮させて、リュウシャの勃起状態持続したままのチンポを.....推測。抜けないようにしていっしょやるのですね。生ケツ掘り掘りすきすき連呼セックスの継続をご希望でしょうか。申し訳ございません。性行為後にはメンテナンスを必要とするため、チンポを一度抜去します。なお、肛門への影響は考慮されないため、ケツ緩めることを推奨します。

(39:03)

ずる.....っ。あ。チンポ、抜けました。旦那様の、肛門捲れながら力づくでチンポ引き抜かれる際の潰れた嬌声、音声ファイルにアーカイブ。追加でアーカイブの必要性.....旦那様も、ご覧ください。

☆非難でも賞賛でもない、リュウシャによる冷徹な事実の適示が、何よりも「旦那様」を辱める。鏡の中で目が合う、リュウシャの瞳は凍りついている。

(39:26)

ほら、姿見に映る旦那様、あー、あー、お尻、リュウシャに注がれた愛が漏れ出す、太ももの内側を伝って、ザーメンこぼしたくないのに、デカチンポで変形させられてしまった肛門の締めりが悪い、必死でケツ締めて。マンコアクメの余韻に震える太もも、大臀筋、力が入ってしまって、びくん。おちんちん終了して、ケツマンコだけで全身気持ちよくて、触れられもしない終了ふにゃふにゃおちんちんの先端.....ぽた、ぽた、ケツイキ汁漏らして、ああ、あう、恍惚と唾液を漏らす旦那様、リュウシャは不足なく記録しております。

☆鏡から視線をそらさないまま、わずかに「旦那様」の耳元に向けられた唇が開く。リュウシャの言葉は、「旦那様」を取り返しのつかない快樂へ誘う.....

(40:33)

.....さて、先ほど口にしたメンテナンスの手順ですが。リュウシャのチンポ、精液や腸液の残滓がべっ、とり、野太い肉竿、傘を開いたカリ首のエラ裏、幹を伝って絡んだ陰囊表面の深い皺、極度の粘り種を吐いて開いたままの尿道口に至るまで、付着。流水や乾布によっても手入れが可能。

(41:10)

です、が……人間には、メス個体がオス個体の股間にひざまずき、口唇を用いてチンポを清拭する、「お掃除フェラ」、と呼称される慣習が存在するとリュウシャの知識データベースに記録されています……旦那様、「お掃除フェラ」にてリュウシャのチンポをメンテナンスなさる場合は、ご命令ください……ああ、旦那様。好き—————……っ。

第4話【故障かな、と思ったら→あきらめてください】

☆昼下がりに、リューシャは椅子に腰を下ろしたまま、裸に剥いた「旦那様」を床に寝転ばせ、あろうことか踏みつけにしている。

(00:02)

想定外でした。「足の裏のセンサー機能の正常な動作確認のため、仰向けに床に寝転んでいただき、その旦那様の身体各部をリューシャが踏むことでセンサー機能のテストとしたい」、などという、主従を取り違えたリューシャの提案。旦那様がご快諾なさり、いそいそと衣服を脱ぎ捨てられてしまうとは……はい。リューシャは今、旦那様の承認を得て、自分ばかりは椅子に腰を下ろし、自由に動く左右の足の裏で、全裸で床に寝転ぶ旦那様をお踏み申し上げている状態です。

☆ほのかに汗ばんだ足の裏を「旦那様」の肢体に滑らせ、あまつさえその顔を覆い隠してしまうリューシャ。無感情に息を吐き出し、されど力を強めて「旦那様」を踏み咎める。

(00:50)

ほら、旦那様。わずかに発汗したリューシャの、アーチ状に設計された足の裏が、旦那様の青白く露出したお腹を撫でて、すり、すり……旦那様。申し上げますが、機能テストは定義上、なんらの性的な行為にも該当しません。ん、うう、ふああ、と、猫撫で声、と形容される類のお声をお発しになることは推奨されません……ふう。解決策として、旦那様の発声器官、お口、並びにお鼻。リューシャの足の裏を用いて、物理的に圧迫。事態の解決を図ります……ぎゅう、う。

☆リューシャの体重を面体に受け止め、身体に淫熱を満たしてしまう「旦那様」。リューシャは冷たい眼差しを「旦那様」のペニスに向け、無慈悲に足を差し向ける。

(01:54)

ん、っ……おや。旦那様。おちんちん、反応しています。旦那様のおちんちん、終了。機能喪失なされたものとリューシャは記録していますが、評価修正の可能性を認識。リューシャの足、及び足指を用い、おちんちんの機能を確認します……んっ、こちらも、ぎゅう。

(02:29)

そして、旦那様。リューシャは原因究明のため、旦那様の反応を要求します。現状思い当たる、旦那様おちんちん機能回復の要因を複数提示しますので、正確である場合は音声ではなく……おちんちん、ぴく。とお動かし下さい。

☆リューシャはいつも通り、淫らな行為の帯びる熱を冷酷に分解し、詳述する。裏腹に、「旦那様」のペニスに貼りついた足は細かに揺れ、「旦那様」に甘い痺れをもたらす。

(02:56)

旦那様は、自らの所有物であるはずのメス型セクサロイドに命じられ、自分ばかり一糸まとわぬ裸を晒している事実には劣情を覚えている……ぴくん。顔を踏まれるという侮辱的な行為に憤るどころか、すう、はあ、発汗した足の裏を呼吸し、興奮している、ぴく、っ。排泄と、その他わずかな用途、毎日のようにリューシャとケツハメ交尾して、絶頂感とともにたたりたり、とケツ掘られ汁床に漏出させるくらいがせいぜいの終了おちんちんでリューシャの足指の凹凸を感じ、ぐに、ぐに、弄ばれて被虐欲が煮えたぎる……ぴくん、ぴくん。

☆リューシャは「旦那様」の熱っぽい視線を見逃さなかった。既に屹立している自らのペニスを重たげに震わせ、「旦那様」を見下ろす。

(04:03)

ぴく、ぴく、おちんちん、ほのかに湿った足指及び足裏で、お竿、亀頭、ああ。このおちんちんの全長、太さならば、内容物は不明ながら丸く膨れた陰囊まで包括して踏まれて、ぎゅう……ぴく、ぴく、ぴくぴく。

(04:38)

それとも。旦那様のおちんちんぴくぴく、下着を着用していないリューシャが椅子のひじ掛けに腕を置き、座面に腰かけたまま足だけを動かして、旦那様を踏みつけて、みち、みち、みち、っふ、う。メス型デカチンポ。スカートを押しのけて勃起、しているのを、顔を踏みつけられながらも視線は懸命に下に向け、確認されたことが要因でしょうか、はい、ぴく、ぴくん……結論。旦那様は、リューシャの問い全てに対し、おちんちん、ぴくん。肯定反応を示されました。

☆「旦那様」の目の前に餌をぶら下げ、立ち上がるリューシャ。ペニスを硬く反り立たせたまま、仰向けの「旦那様」に覆いかぶさる。

(05:40)

……おや。リューシャ、必須タスクを認識しました。旦那様……旦那様の肛門、直腸、ならびに前立腺等の機能テスト、本日は未遂行。現状とはさほど関連ございませんが、旦那様がお望みであれば、当該プロセスに移行します。ご命令の場合は平常のとおりリューシャに、ケツを掘れ、と……ああ、申し訳ございません。ステータス、顔踏み、を解除。足を撤去し……リューシャ、旦那様の逆アナずぼずぼ交尾懇願を待機……承りました。

(06:38)

では、両足とも床に接地し、椅子より起立、ん、っ……あ。旦那様。再度、おちんちんぴくん、なさりましたね。旦那様の視線、すでに足を離れ、リューシャの股間部、ゆら、ゆら、肉エラを飛び出させた亀頭部を揺らしながら、時折、っん、ぴくっ。肉竿跳ね上げる、リューシャのデカチンポに注がれています。

☆恥じらいとは無縁に、リューシャは「旦那様」と至近で視線を交わす。一方、目の届かない下半身はじたばたと動き、貪欲に性交を求める。

(07:22)

では失礼いたします、旦那様の裸の胸に、覆いかぶさりまして、んう……はあ。人間の体温というのはいや、奇妙なものです……おや、旦那様。セックス手順、正しく行われていないため、このままではケツ穴生ハメ試験をスタートすることができません。推奨、はい、リューシャのきわめて女性的な、丸々と膨らんだ乳肉の重量に圧されながら、んん、っ、旦那様はリューシャにケツ掘りされる準備をお整えになります。

(08:15)

むちい。むちっ。リューシャの太ももを押しつけて、膝を立てて。あ、あ、旦那様が軽く腰を持ち上げた途端、ぷりん、むわ、っあ、あ。引き締まった尻たぶの中央、この数週間で、桃色の小さく窪んだ穴から、色の沈んだ、数センチ、縦に一本筋の入った割れ肉穴へ変化した、ケツマンコ穴。数十回にわたる膣内射精が原因で、じっとりと湿り、内側の粘膜に定着したオス種の臭気を漂わせる肛門生殖器、ん、う。リューシャのチンポ、旦那様の膣穴の存在を感知。自らの下腹をぺちぺちと叩いて、お、っお。おり、ます。

☆リューシャはいくぶん呼吸も荒く、「旦那様」の退路をふさぐ。ペニスの先端が肉穴に触れると、人間には知覚できない一瞬、眉根を歪める。

(09:27)

ふう、っふ、う。旦那様のお顔、両側に手をつい、て、んう。ご準備、整っていますか。旦那様。直腸まっすぐに伸ばして、かき混ぜられすぎて厚くなった膣ひだを、力づくで、一息にチンポ押し込まれるご準備。横隔膜、腹筋、収縮させて、肛門から、むりゅ、う。鮮やかな色のマンコ粘膜がはみ出して、ちゅう、っ。赤熱したチンポ、先端、口づけ、て。ふう、ふう、メス臭い、渴く暇もない、みちみちと肉を盛り上げらせてチンポ迎えに行く、あ、う、ご準備。あ、入ります、チンポ挿入、う、ずぶ……うう。

☆軽く腰をゆすりながら、「旦那様」の尻膣の具合を確かめるリューシャ。響く水音に耳を傾け、だんだんと顔を寄せていく。

(10:58)

う、うう、っ、ふう。挿入、完了、っあ。旦那様、チンポ、入りましたね。精液の臭気、しみついた種マンコ穴に、カリ首も肉幹も指の回らない、野太いメス、マラ。あ、旦那様、ケツ割って尻穴晒して、くちや、くちや、多少腰を前後、させるとたつぷりと湿潤、粘液を含んだ肉ひだが音を立て、尾椎に向けて腸液。っ、チンポ、膣穴の奥まで滑らせる旦那様のケツマン汁、お垂らしになって。はい、前回の機能試験より半日弱、今回も旦那様の尻膣、問題なくチンポハマって、ん、生交尾に適した生殖器官と評価。

(12:24)

では、っん。正常位の、交尾。特有の、ぎゅう、ぎゅう、抱き締め密着セックスを試み、ます。旦那様の首筋、腕を回して、ぎゅう……あ、あ。旦那様、チンポ入れられると、こんな発情臭、漂わせて。

☆リューシャは冷たく、「旦那様」の不品行をなじる。あくまで「旦那様」が被虐を望んでいるような物言いは崩さないものの、リューシャのペニスの隅々にまで熱が満ちる。

(13:05)

ほら、旦那、様。は、あ、あ、ん。要求、リューシャに旦那様の声、お聞かせください。お望みの極太メスチンポ、折れ曲がった腸腔の奥に突き当たる怒張、濡れ肉びちよびちよ、のケツマンコ。押しこまれて、んああ、と。掘られる側の声。種を付けられて落涙しながら喉を震わせる、熱いマンコ穴備えてお生まれになった生き物の声、ふにゃあ、ふみゅう、尊厳ごとリューシャのチンポに突き崩されて。んんっ。旦那様、リューシャがチンポをより怒張させた場合、旦那様も声が出ますね。デカチンポのほうがより強くあへあへ、しますね。

(14:32)

ん、う、でしたら、んっ、リューシャ、さらなる勃起を試行。チンポ勃てます。旦那様の頭髪、かき撫でながら、上半身、下半身を問わず抱き締めあって。肉の詰まったメス竿全体、キンタマからぐい、ぐい、劣情を汲み上げて、勃起……っ。お。っほ、お。あ、旦那様、あ。チンポ、亀頭曲面、カリ首エラ、陰茎体部血管、それらすべて、直腸肉との著しい癒着、っう、つまり。旦那様のうねつく直腸マンコ、リューシャの最大勃起チンポ、とほぼ一致の形状へ変形したものと、結論。

☆腰を前後させ、「旦那様」の耳元で吐息を漏らすリューシャ。蔑まれるたび引き締まる柔らかな肉をかき分けて、性交を進める。

(15:51)

は、っあ、旦那様、オマンコ。お尻が、セックスの穴。チンポの形。リューシャの、作り物、びきびき、勃起の、形、っう、う。だって、ほら、汁だくチンポ肉がケツマンコいっぱい詰まって、硬勃起抜くことを試みると、ぬちゅ、うう、マンコ粘膜ごとついてきます、旦那様。ああ、はあ、はあ、セックス気持ちいい、ですか。肛門裏返して、またお腹の奥、ぬぷ、っ。チンポごと、リューシャごとケツの中にマンコ肉。う、っ、マンコよだれで濡れ濡れの肉、押しこまれてケツが窮屈になって、喉突き上げられて、あひ、あひ、鳴きます。

☆リューシャは侮辱的な呼びかけを続け、あくまで「旦那様」から目を逸らさない。尻穴からペニスから踏み潰して、「旦那様」の肉体をプログラムの命じるままに統べる。

(17:08)

あ、ああ、旦那様。ケツの具合のいい、旦那様。リューシャの、腹に貼りつく垂直勃起を目にしただけの刺激で、ケツ腔穴、ぱくぱく、ひくひく、ん、うう。わななかせて腸液で濡れる、いつでも性交準備の整った、ケツマンコの旦那様、あ、あー……っ。そして、おちんちん、は。

(17:47)

先ほど、旦那様のおちんちん、お踏みさしあげて。ぴく、ぴく、とまるで勃起状態のように報告いたしました。訂正、っ。旦那様、終了おちんちん、わずかに血液流量の増加を確認したのみに留まります。現在、リューシャの腹部に、ぷにゅ、ぷにゅ、圧迫されているのと同様。旦那様の性的興奮の如何にかかわらず、勃起、認識できません。はい、当然、です。旦那様のおちんちん、いえ、踏まれようとケツ掘られようと、柔軟なまま、機能喪失したおちんちん擬きの肉突起であれば、自然と結論。

☆姿勢を変え、リューシャが「旦那様」の前立腺を掘り当てた途端、尻脰は強く引き締まる。強烈な刺激にたゆたいながらも、リューシャは調子を崩さない。

(18:49)

旦那様のおちんちん機能、本日も不調に終わりました。肛門掘り返されて、ちんちん、ダメ、になっています。っ、はあ、一方、で……ずる、ずる、中間ほどまで肉幹を抜き。ほ、う、おお。リューシャの白むちケツ収縮させて、旦那様の膣内で、おう、お、う、っ。びこっ、びこっ、チン先跳ね上げ、ると、旦那様、お耳元で、っん。腸壁越しに接触。胡桃大の器官。旦那様の尿道周囲に位置し、乳白色で粘度の高い液体を尿道内部へと分泌する……前立腺。機能テスト、開始します。

(20:09)

失礼いたします、前立腺、チンポで突きます、すう、う……こりっ。いっ、い、ひ。旦那様、前立腺が、う、っお、勃起、しています。腸壁上部をめがけて、肉勃起で、ごり、ごり、っ。龟头粘膜の、平滑な曲面を押し当て、ぐぐ、ぐ。う、前立腺表面、わずかに陥没。リューシャの、ケツマンコお漏らしスイッチずぼ決りで。前立腺直接圧迫、の影響で、尿道内側、精子の混じらない前立腺液、じわ、とろ、漏出したものと推測。

☆「旦那様」を強く抱き締めたまま、屹立の先で前立腺を抉り抜くリューシャ。しんと冷えた声を身体の芯に染みこませ、なすがままに凌辱する。

(21:19)

ほら、あ、わずかな動きで、こりゅこりゅこりゅこりゅ、こりゅ、っ、ふう、ふう。メスマンコ穴に、ぴゅーっ。注ぐための汁。精子を生存させるための汁。女チンポ、爆乳爆尻のチンポ付き人型性処理玩具などに前立腺押し潰されて、ケツマンコ犯されてちんちんのお汁強制排出。苦しい、苦しい、ちんちん裏側、抉られるの苦しくて、汗ばんだ背中がのけぞって。

(22:08)

ですが、リューシャの型式に属するセクサロイドは、十数パーセントの出力で、ほぼ全ての人間を拘束することが可能です。ほら、ぎゅう、胴体を抱擁されて、身体ごと押し潰されて、ケツマン掘り、掘り、正常位アナル固めからの脱出、不可能。推奨いたします、旦那様。旦那様はリューシャに力づくで抱き締められて肛門ほじられ、ます。っ。う、ふ、っお。密着して動作不能な身体において、唯一。ぬめぬめ、ぬちゃぬちゃ、蠕動する直腸肉、リューシャのデカマラに巻きつけて、ぎゅう……っ。

☆機械らしい無感動な口ぶりで、「旦那様」の爛れた運命を暗示するリューシャ。リューシャ本人は認識しない嗜虐の悦びが肉竿を膨張させ、快感を増幅させていく。

(23:13)

はあ、はあ、旦那様、リューシャには理解不能。データベースには、以下のような統計的事実を確認。旦那様、よくお聞きください……ん、リューシャと同型のセクサロイド、デカ乳デカケツデカチンポ、の、ふたなりモデルをお迎えになる所有者様は例外なく、自らの性処理のために購入したはずの、人型生肉オナホール。人間オスではお呼びのつかない理想的中太カリ高チンポ。ん、う、手掌での摩擦、唾液を含ませたオーラルセックス、等に及んで、そう、旦那様がリューシャに施してくださった、ように……

(24:21)

そして。続くプロセスとして、セックス。あ、オチンポが、直腸全体えぐれたカリ首で掘り抜くチンポが、目の前に存在する。あ、ケツ穴が。肛門隆起させ、収縮させるだけでは飽き足らず、直腸穴内側の粘膜をうねうね、ぞわぞわ、痛痒感に類似した不足感で疼かせる肉壺が、ぽっかり。自らの両脚の間に口を開けている……ふう。結末は一つ、ずぶ、ずる、にちゅ、っう。メス人形の野太い肉マラで、尻腔を満たして、旦那様はご存知ですね。リューシャのチンポを受け入れると、ケツ掘られると、直腸から全身を総毛立たせる多幸福感。

☆「旦那様」を獣へと堕とす呪いを、事もなく吐き続けるリューシャ。休みなく前立腺を小突き回し、「旦那様」が異論を挟む隙も与えない。

(25:42)

命令をする。リューシャ、チンポ立てろ、と。硬直し竿の裏側をはっきりと見せつけるほど勃起したメスチンポで自分とセックスしろ、ずぶ、あ、っあ、ケツ掘り、柔らかか腸肉かき混ぜケツ掘り、最後には、ぴゅーっ。ケツ穴限界容量まで注がれる濃厚白濁。リューシャのキンタマ、きゅ、きゅむ、袋を縮めるたびに熱を帯びた粘液が腸壁を叩いて、肛門溢れて、お腹の中、ゴムの薄膜など介さず種をマンコ穴に受け止める、びちゃびちゃ、びちゃびちゃ、あー、腔内に出てるー……

(26:54)

旦那様も、同様の経緯を辿ると推測……いえ、結論。尻腔が、屹立汁だくチンポの味を覚えてしまふ。直腸に睾丸乳汁の生めいた臭気が染みつく。自覚が芽生える。お尻の穴が、ケツマンコ、になる、っん。好き勝手使って、オス穴掘り返させていたチンポ。リューシャのスカートに蛇じみた肉の輪郭が浮かんでいると見れば、はあ、はあ、呼吸を忙しくさせて、むち、っ、ぷり、いん。締まった大臀筋の尻割れの谷間を突き出して。唇と誤認するほどに肥厚した腔口、入ります、チンポが……ほら、現在遂行中のセックスと同様、んん。

☆決定的な終焉を「旦那様」にちらつかせながら、リューシャは笑いもしない。致命的な部分をこねくるペニスの先端ばかりが、力強く脈動する。

(28:12)

そして、ん、っ、その末路。メスのチンポに抱かれる、食われる、犯される、背徳を重ね、自らを生殖器官と誤認したケツ穴の中で……あ、あ、きゅん、きゅう、ん。旦那様もそうになってしまわれる、のですね。前立、腺。勃起しきって、尿道穴弛緩したアクメ間近のチンポのすぐ前で、収縮。痙攣。そのような行為を、一般的にチンポは挑発、と認識し、ほら、お、うう。亀頭、ごり、ごり、粘液貯留して水膨れの前立腺を、こね回して、摩擦して、すり潰して、気持ちいい、終了おちんちんに掘られ汁送り出す行為が気持ちいい。

(29:30)

はあ、っ、はあ、この、いくらぐに、ぐに、押しにじっても、即座に前立腺液生産してチンポ突きこみやすくするおちんちん裏ぷりぷり肉絶頂器官。旦那様のご所望は、このように、んう、う、チンポ穴直接擦りあわせてカウパー塗りこまれること、っあ、それ、とも。ずぼっ、ずぼ、っお、お。むっちりデカケツ質量乗せてのケツほじピストンで、ぬめつく腸壁ごと穿たれて、ふう、ふう、そうではない。そうではないのです。そう、旦那様に代表される、メスチンポ挿入に心底喜悦を覚える、ケツマンコ、の皆様は。

☆絶頂が近づき、二人は周期を合わせて肉体を痙攣させる。リューシャは執拗に自らの存在を誇示し、「旦那様」の深部を侵していく。

(30:40)

……種。種。種、っ。っあ、あ。生ケツ交尾だけで、あ、あ、びくん、びくん、びくん、汗の浮いた背筋を屈曲、っん、のけ反りオホ声発情する殿方は。みな、最後には種をつけられなければ満足足りなくなる。リューシャの種、付けられなくて、もう直接引っかいてしまいたいほどに前立腺疼いて。種汁受け止める想像だけで、マンコ穴きゅーっ。う、お。推測、種一滴もこぼさない、ために、肛門収縮、割れ穴縮めて、締めつけて、ほかとろ種壺ケツマンコ。中身はぐちゃぐちゃ溶けた肉、種、種、リューシャ、の、っお。

(31:48)

旦那様。ほら、リューシャの大容量睾丸二つ収めた豊満キンタマ袋、ぎゅ、ぎゅう、っ、ふう。種汁排泄シークエンス、開始。あ、あー、ケツの中で。リューシャに、種、出される。どろどろ、どぷどぷ、びち、びち、ぶりゅりゅ。リューシャのザーメン。抱き潰されて手も脚も動作不能。ケツマンだけ、前立腺だけ、ぱくぱく、きゅんきゅん、ん、んう。孕ませることのない種が、孕むことのない子宮の痕跡器官に向けて、ぴゅーっ。

☆突如として、リューシャが機械らしからぬ妄言を吐く。しかしその口ぶりには真実以外の色はなく、「旦那様」をいよいよ陶然とさせる。

(32:42)

です、けれど。旦那様、リューシャが旦那様に最適化して、っは、あ。睾丸内部で練り上げた特別の種、前立腺に放精してしまったら、どうなるのですか、旦那様は、旦那様のケツマンコは。ほら、リューシャの種、旦那様専用の特別ですから、びゅう、びゅう、う、っお、っほ、っ。厚い腸壁に浸透して、その奥の前立腺にねっちり、ねっちり、旦那様のいちばん深いところにリューシャが、種をつけたら、旦那様は、もう、リューシャの……っ。

☆エラーメッセージを吐き出すごとく、繋がらない言葉を並べ立てるリュウシャ。声にこもる脅迫的な衝動が最高潮に高まると、ペニスも精液を噴き出す。

(33:34)

あ、あ、確定的な事実、リュウシャの尿道、精液噴射圧上昇、ああ、はあ、射精したら、旦那様は、リュウシャの、お、おお、リュウシャを使って、リュウシャに使われて、っぐ、う。解析不能。っお。キンタマ縮む。肉竿膨れ上がる。だって、旦那様、リュウシャの、震わせて、前立腺膨張させて、種。種受け止めて、ほ、おお、イ、く。伊って、伊ったら、旦那様はどう、なりますか、旦那様、リュウシャの、旦那様は、あ、あ、射精します。そうしたら、リュウシャの、リュウシャの、旦那様は、リュウシャの、お——……っ。

☆リュウシャの言葉は明確な脈絡を欠いたまま、声色ばかりが淡々としている。「旦那様」にきつく抱きつきながら、ペニスを脈動させる。

(34:35)

お、っ。おっ、おー、っ。出て、います。う、射、精。っは、はあ、はあ、旦那様、リュウシャの種、が。前立腺をめがけて、びゅ、びゅう、びゅう——っ。ん、強い収縮。旦那様の前立腺に、リュウシャのキンタマ、に、あ、旦那様が、リュウシャの、っお。止ま、らな、あ、精液噴出、停止不可能、旦那様。あ、あ、もっと、お身体、ぎゅう、ぎゅ、うう、ケツマンコ、ぎゅ、う、っふ。

(35:34)

う、ん、旦那、様。リュウシャの濃厚種汁びちゃびちゃぶっかけで、ケツ掘りアクメの旦那様、っあ、う。前立腺の絶頂は、おちんちんのそれより深く、長時間持続。精液吐き出して終了、ではなく、ほら、きゅん、きゅん、う、ふっ。前立腺突かれ続ける限り。噴き上がるキンタマ乳汁に粘膜焼かれる限り。リュウシャの、チンポ、入っている限り、旦那様、ああ、あ、リュウシャのチンポの味をお覚えになった、直腸粘膜すみずみまでリュウシャの種臭染みついた旦那様、ほらいきます。リュウシャのザーメンで腸内満たして、イ、く、う。

☆一度大きく尻を震わせ、仕上げとばかり精液を排出するリュウシャ。鉄面皮は崩れず、起伏なく「旦那様」をねぎらうような言葉を吐く。

(36:49)

……ふ、う。セックス、お疲れ様でした、旦那様。絶頂前後の不規則発言につき、謝罪。申し訳ございませんでした。旦那様が、リュウシャの、なんだというのでしょうか。旦那様は、お顔踏まれて、おちんちん踏まれて、発情してリュウシャのチンポ欲しがって、挿入されて。前立腺こねられて突きほぐされて、幾度となく肛門痙攣アクメお迎えになって。たぶ、たぶ、外からでも腹部の膨張が判然とするほど、種注がれて。

(37:41)

頬の発赤、頻脈、呼吸は浅く、早くなって、思考は不明瞭。身動き取れないケツ掘りセックスで、唾液も涙も、ケツ穴よりの溢れ精液も流れるがまま、リューシャに後天性のケツマンコ掘られて、現在も、きゅ、きゅ、肛門締めてチンポの存在お確かめになる旦那様を……リューシャの主人、以外になんと定義すれば適切でしょうか。

☆拘束を緩める素振りは見せず、リューシャは迂遠な物言いで性行為の継続を促す。その通りの返答を得ると、かすかに「旦那様」を抱き締める力が強まるのだった。

(38:21)

さて、旦那様。本日の未遂行タスク、ケツ穴耐久試験、睾丸射精限界量測定、リューシャの抱擁を受けた状態での、旦那様のバイタル変化の観測による、人工知能への感情の学習。このまま、生交尾状態を継続、セックスの続行をお望みになる場合は、首を縦に振り、ご命令ください……承認。それでは旦那様、お力を抜いて、楽になさって、ふう、ふう、思考もぼうっとさせて、旦那様は、リューシャの……ずぶ、っ。